

幼保小の架け橋プログラム調査研究事業

令和5年度 中間成果報告



秋田県大館市



おおだて 大館市



人口と教育・保育施設数（令和5年7月1日現在）



人 口 65,937人

私立幼稚園	1	私立認定こども園	8
公立保育所	5	指定管理保育所	4
私立保育所	1	へき地保育所	6
地域型保育施設	2		
事業所内保育施設	5		



市立小学校 17校



1 大館市の教育について

(1)市の教育理念・施策 (H23~)

「大館ふるさとキャリア教育」を
根幹とした人財育成、
教育による地方創成

0歳から22歳までの育ちをつなぐ

就学前教育・幼保小連携の充実
→保育アドバイザー（子ども課）、
幼保小連携アドバイザー（教委）の配置

校種や立場を越えて、共に子どもを語る、共に学び合うことで、
「未来大館市民」を育成するという目的を共有



(2) これまでも続いてきた各小学校区での幼保小交流活動

行事で交流



小学校の
生活を体験



(3) 市内全体の教職員研修会(例年開催)

◆ 幼保小連携推進会議

R5年5月17日(水)

幼保主任・小学校教頭 51名参加



◆ 幼保小担任合同研修会

R5年6月1日(木)

5歳児・小1担任・管理職ほか250名参加



幼保小連携の顔合わせ、架け橋プログラムについての説明・講演
全体研修会後は、小学校区ごとに具体的な交流計画、共通する課題を協議

(4) 幼保小の架け橋プログラム実施の必要性



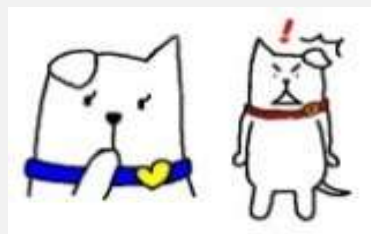
子ども・職員同士の交流

スタートカリキュラム



これまでも連携してきたのに、あと何をするの？

今までと何が違うの？



アプローチカリキュラムやスタートカリキュラムでは、ダメなの？

(5) 幼保小の架け橋プログラムの必要性



カリキュラムの接続

5歳児・1年生の育ちに伸びしろ
学び（経験内容）にばらつき

- 本市が目指す子どもの姿に向けて、
共通するカリキュラムで保障すべき保育・教育、育ちの姿を可視化
- カリキュラム開発の協議を通して、主体的で具体的な教育・保育の改善
- 多様な育ちに対応して、一人一人の発達を見取って促す

この時期にふさわしい援助・指導が積み重ねられ、市内のどの園・小学校にいても発達に必要な経験（生活、保育・授業）が保障されるためには、共通したカリキュラムが必要

2 本市における架け橋プログラムの進め方



I 共通理解

事業の概要、本事業の必要性、
本市教育における方針・位置付け

- 幼保小の教職員合同研修会
- 研修用DVD
- 各校・園・団体での講話・説明

II ひな型提示 情報共有

市共通版架け橋カリキュラム
モデル地区版カリキュラム
事例・展開例の提示

- 研修会での説明
- 冊子「カリキュラム作成研修資料」全員配付
- 幼保小連携便り「つなぐ」

III 周知・拡大

全小学校区 作成→実践→検証→改善

- 交流年間計画表
- 作成手順
- 架け橋コーディネーター等によるサポート

(1) 架け橋期に期待する子どもの姿

「共感的協働力」

「周囲の人々や環境と主体的に関わり、 学ぶ喜びや楽しさを実感しながら
仲間とともに育ち合う子ども」

「ふるさとキャリア教育」

- 地域とのつながり・関わり
(知る・親しむ・楽しむ)
- 主体的な学び
- 自己肯定感
- 本物体験（五感を通した直接体験）の重視

「おおだて型学力」

- 共感的協働力
= 響学（育ち合う・学び合う）
- 一人たりとも置き去りにしない = 個々の育ちを見取り、引き出す

「架け橋期」

- 人間的基礎力
- 学びの喜びや楽しさを実感
= 子どもの意欲や期待に応える保育・授業
- 学びの自覚化
- 「10の姿」を共通言語にして、つなぐ

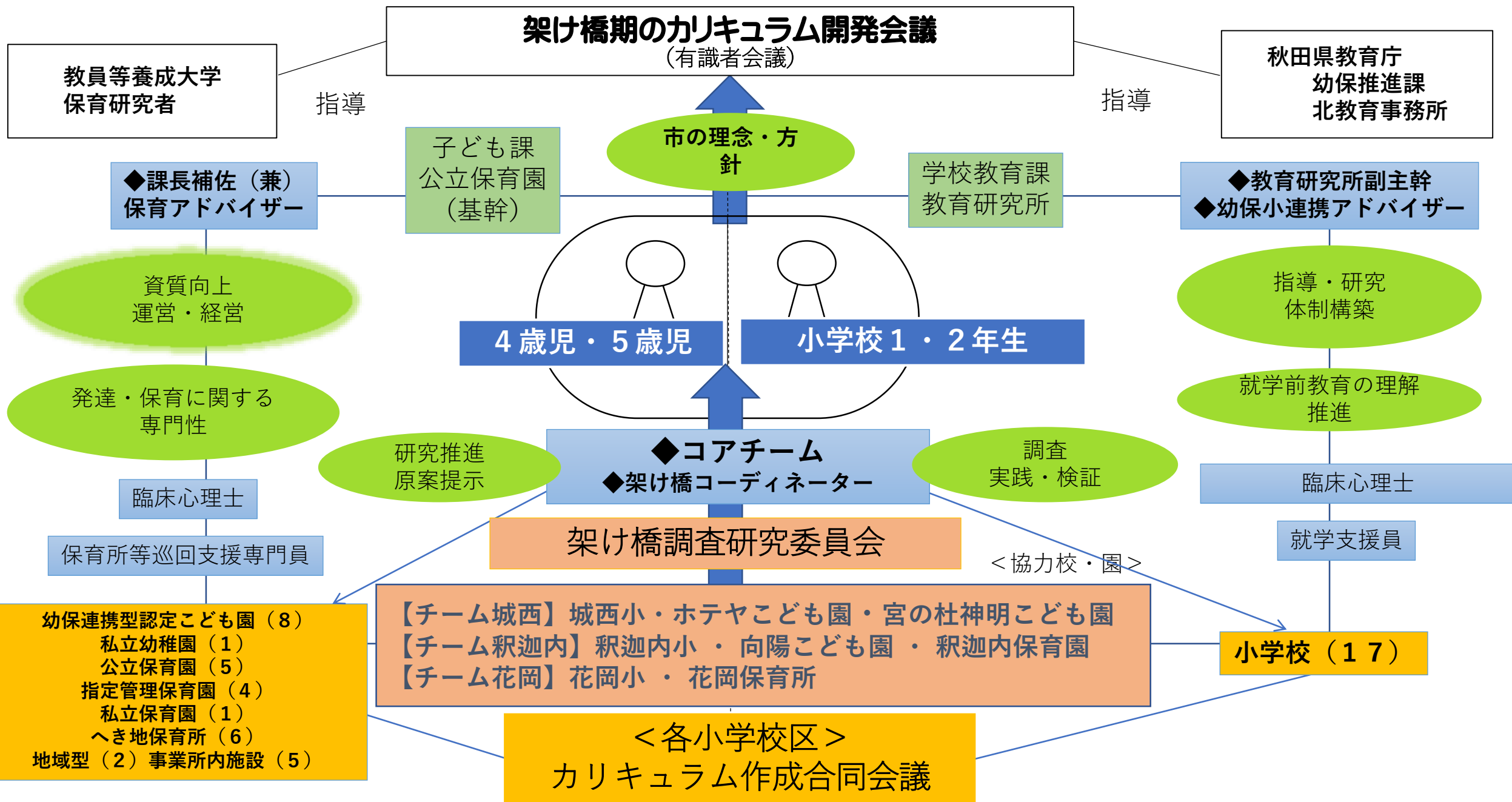
(2) 架け橋期のカリキュラムの作成に当たって

- ★本市では4歳児から小学校2年生までを架け橋期と捉える。
- ☆小学校への適応を急ぐのではなく、就学前の学びや体験の延長線上に、発達
の特性に応じた学びを積み上げる。
- ☆学びの喜びや楽しさを実感できるよう子どもの意欲や期待に応える保育・授
業を展開する。
- ☆すべての学習の土台となる「ことば」「言語活動」における伸びしろを十分
引き出す教育・保育実践を大切にする。

◎協議の場「調査研究委員会」「カリキュラム作成合同会議」

- ◆園と小学校が、**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿「10の姿」**を
視点に同じ子どもたちの姿から育ちを語り合う。
 - ◆3つの資質・能力をベースに、幼保小が同じ方向性をもった「ねら
い」、それに基づいた活動や体験を設定する。
-

(3) 架け橋期のカリキュラム開発に向けた体制



①

架け橋期のカリキュラム開発会議



市としての方向性やコアチームによる原案の検討・指導助言
モデル地区の取組の経過報告

- 委員長 保育養成大学の学長
- 委員 モデル校区の小学校長
- 県教育庁幼保推進課指導主事
- 〃 北教育事務所指導主事
- 私立学校協議会代表(認定こども園長)
- 私立保育園長代表、公立保育園長
- 市(子ども課・教育委員会) 計 11名



R4年度

- ① 8月24日 (市としての現状の課題・架け橋期の重点・研究推進)
- ② 1月25日 (市共通版カリキュラム、モデル地区の研究経過)
- ③ 2月28日 (モデル地区のカリキュラム、1年次の成果と課題、カリキュラム作成研修資料)



② カリキュラム作成のための研究組織

R 5 年度

事業推進

研究推進の コアチーム

子ども課

- 保育アドバイザー

教育委員会

- 教育研究所 副主幹
- 架け橋コーディネーター
- 幼保小連携アドバイザー

☆カリキュラムの作成・実践・検証

- ・市共通版カリキュラムの作成・周知
- ・カリキュラム作成へのサポート

実践・検証

架け橋調査研究 委員会

研究協力校・園

(モデル地区)

- 教務主任
- 主任保育士
- 主幹保育教諭
- 1年生担任
- 5歳児担任 等

☆カリキュラムの作成・実践・検証

- ・モデル地区版カリキュラムの作成
- ・校園の連携、交流 ・事例提供

実践・検証

カリキュラム 作成合同会議

全小学校・園

- 管理職
- 教務主任
- 主任保育士
- 主幹保育教諭
- 1年生担任
- 5歳児担任 等

☆カリキュラムの作成・実践・検証

- ・小学校区版カリキュラムの作成
- ・校園の連携、交流 ・事例提供

(4) 本市における架け橋期のカリキュラム作成の進め方




方向性
ひな型

先行実施

拡大
浸透

	1 年目	2 年目	3 年目
市共通版	<p>▶ 架け橋充実期 (5 歳児10月～1 年生 7 月)</p> <p>▶ 架け橋期 (5 歳児 4 月～1 年生 3 月)</p>	<p>▶ 4 歳児～ 小学 2 年生</p> <p>▶ 検証・評価</p>	<p>▶ 改善</p>
モデル地区版	<p>▶ 架け橋充実期 (5 歳児10月 ～1 年生 7 月)</p>	<p>▶ 実践</p> <p>▶ 架け橋期 (5 歳児 4 月～ 1 年生 3 月)</p>	<p>▶ 実践・検証・ 評価</p>
各小学校校区版		<p>▶ 架け橋充実期 (5 歳児10月 ～1 年生 7 月)</p>	<p>▶ 架け橋期 (5 歳児 4 月～ 1 年生 3 月)</p>

① 釈迦内小学校区 年間交流のまとめ（R 4）

	子どもの交流活動	教職員の参観・合同研究会	架け橋調査研究委員会
5 月	①ひまわり活動（種袋詰め） ②田植え ③ひまわり活動（種まき）	①授業参観＋情報交換会	
6 月		②要請訪問（保育参観）＋協議 （向陽こども園） ③生活科TT授業＋協議	
7 月	④プール授業参加2回		
8 月		④小学校教諭の保育体験 （向陽こども園）	
9 月	⑤ひまわり収穫 ⑥学習発表会予行見学		
10月	⑦稲刈り ⑧焼き芋交流会	⑤要請訪問（保育参観）＋協議 釈迦内保育園	
11月	⑨生活科交流授業	⑥交流授業打ち合わせ3回	
12月			①協議（課題・目指す姿）
1 月	⑩図書館体験		②カリキュラム作成
2・3月	⑪学校体験 ⑫雪遊び交流	⑦新入生情報交換	③カリキュラム作成

② カリキュラム作成までのプロセス（職員間の交流により互いの保育・教育の理解を図る）

▼園見学、保育参観

▼授業参観・授業への参加

▼合同の研究協議



▼小学校教諭の保育体験



10の姿を視pointsに、保育・授業での子どもの姿を協議

保育方針、子どもの見取りや遊びの見方の説明を受けて



③ カリキュラム作成までのプロセス（子どもの交流活動を通して 子どもの姿の理解を図る）

幼保小交流授業・保育

「たのしい秋、いっぱい（生活科）」

▼交流2

釈迦内小学校＋向陽こども園＋釈迦内保育園

▼合同での指導案作成



▼交流1



▼事前の協議

④ カリキュラム作成のプロセス（モデル地区の調査研究委員会の開催）

1

まずは、子どもの実態を出し合い・・・
学区の強み、子どもや家庭・地域の課題を共有



2

学区として大切に育てたい力、共通して体験させたいことは・・・



3

目指す姿、ねらいを焦点化・・・

しかし、文章にするのは難しい！

⑤ 架け橋期のカリキュラム開発会議（R 4 の総括）

- ・カリキュラム作成は大変な作業。しかし、そのプロセス（話し合い）を通して自ら保育や授業を振り返ったり、連携の大切さに気付いたりできていることこそが、この事業のすばらしい成果。
- ・今年度末のカリキュラム完成は50%を目指す。あとは、実際に活用しながら保育・授業を実践していく中で修正し、完成を目指していく。
- ・少子化となっている今、子どもが保育所、こども園にしようとも、「大館の子ども」として区別なく育てていくべき。そのための連携・協働は必要。



◎本市の教育理念・事業の目的・カリキュラムの必要性を

☆理解→実感→共感

☆共有化→明確化→可視化

(5) 大館市共通版「架け橋充実期のカリキュラム全体計画」

(5歳児10月～1年生7月)

〈資料1〉大館市 架け橋充実期のカリキュラム全体計画(5歳10月～1年生7月)

架け橋期に期待する子どもの姿
～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学び喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

- 架け橋期に期待する姿
- 期ごとのねらい

● 育みたい資質・能力

「知識・技能の基礎」

「思考力・判断力・表現力の基礎」

「学びに向かう力・人間性等」

? 3つの「資質・能力」の分類の精査

● 交流活動・行事・ふるさとキャリア活動

☆子どもも交流 ★職員交流

? 項目は、これでいいのか

● 環境の構成、援助のポイント ● 家庭との連携

※具体的な展開例の解説を別添資料とする

就学前 5歳児

〈資料3〉大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学び喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育つ子ども～

- 【知識及び技能の基礎】豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたり、出来るようになったりする。
- 【思考力・判断力・表現力の基礎】気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したり。
- 【学びに向かう力・人間性等】できるようになったことや分かたりなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

- ア：健康な心と体 イ：自立心 ウ：協同性 エ：道徳性・規範意識の芽生え
- オ：社会生活との関わり カ：思考力の芽生え
- キ：自然との関わり・生命尊重 ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ケ：言葉による伝え合い コ：豊かな感性と表現

月期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ねらい	5歳児 第一期	5歳児 第二期	5歳児 第三期	5歳児 第四期	5歳児 第一期	5歳児 第二期	5歳児 第三期	5歳児 第四期	5歳児 第一期	5歳児 第二期	5歳児 第三期	5歳児 第四期
知識及び技能の基礎	・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。	・ 友達と一緒に十分に体を動かし手遊び、運動する楽しさや心地よさを感じる。	・ 災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従って行動しようとする。	・ 砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。	・ 綱跳びやフープなどの図数を数えるなど、遊びの中で必要感をもって数えることを通して数を実感する。	・ 友達と一緒に十分に体を動かし手遊び、運動する楽しさや心地よさを感じる。	・ 災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従って行動しようとする。	・ 砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。	・ 綱跳びやフープなどの図数を数えるなど、遊びの中で必要感をもって数えることを通して数を実感する。	・ 友達と一緒に十分に体を動かし手遊び、運動する楽しさや心地よさを感じる。	・ 災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、合図や指示に従って行動しようとする。	・ 砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの違いに気付く。
思考力・判断力・表現力の基礎	・ リレー遊びやドッチボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合ったり工夫する。	・ 園庭の草花や野菜、見つけた虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもって調べる。	・ 絵本や物語に親しみ、友達と気付いたことや感想、想像したことを伝え合うことを楽しむ。	・ 体験したことや考えたことを、いろいろな素材や用具を使って自分なりに表現することを楽しむ。	・ 綱跳びや鉄棒などで、自分の目標を立ててあきらめずに挑戦しようとする。	・ ルールのある遊びの中で、友達と競い合ったり応援したりして遊ぶ。	・ すずんで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんない」の気持ちを心をこめて伝える。	・ 母の日や父の日などを通して家族の大切さに気付く人切にしようとする。	・ 身近な動植物の命の尊さに触れ、大切にしようとする。	・ リレー遊びやドッチボールなどのゲームを楽しくするために、作戦やルールを話し合ったり工夫する。	・ 園庭の草花や野菜、見つけた虫などについて、名前や世話の仕方などに興味をもって調べる。	・ 絵本や物語に親しみ、友達と気付いたことや感想、想像したことを伝え合うことを楽しむ。
学びに向かう力・人間性等	・ 友達と気持ちを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく中で仲間意識を高める。	・ 手洗い、うがい、水分補給、着替え、好き嫌いを減らすなど、健康のために必要なことを進んで行う。	・ 絵本や図鑑、身近な草花などから情報を取り入れ、本物に近づいていくことを楽しむ。	・ 身近な草花や葉などを使って色水を作ったり混色したの変化に気付く。	・ 文字や数字、図形、標識などに興味をもち、遊びや生活で使うことを楽しむ。	・ 遊びの中に身近な草花や木の葉、野菜などの自然を工夫して取り入れる。	・ 野菜の収穫した数を数えたり、大きさや重さを比べたりしながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの言葉の意味を実感する。	・ ごっこ遊びや共同製作などで友達とイメージを伝え合い共有しながら表現する喜びを味わう。	・ 体を動かす遊びに挑戦してできるようになった達成感を味わい、様々な運動に挑戦しようとする。	・ 友達とお互いの思いや考えを共有し、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりする。	・ トラブルを通して思い通りにいかない葛藤を味わったり気持ちを調整したりを繰り返して、相手の思いに気付く仲間としてのつながりを感じる。	・ 高齢者や身近な人々との関わりを通して楽しみをもち関わる楽しさを感じる。
行事・イベント	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式	入学式 進級の会 参観日 運動会 プール大会 秋の遠足 発表会・お楽しみ会 クリスマス会 かるた大会 まめまき アメッコ市 卒園式 卒園式 卒園式

市共通版「架け橋期のカリキュラム」

★架け橋期 5歳児 4月～3月

入学式

進級の会

参観日

運動会

プール大会

秋の遠足

発表会・お楽しみ会

クリスマス会

かるた大会

まめまき

アメッコ市

卒園式

卒園式

卒園式

☆支援環境の構成イベント

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上のことや生活習慣を伝え、保護者の理解を得ていく。

・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。

・ 年間の行事予定やそれをリードする役割を伝え、見通しをもって参加できるようにする。

・ 子どもの発達上の

市共通版「架け橋期のカリキュラム」

★架け橋期 5歳児 4月～3月

？ 期の区切り

小学校 1年生

【資料4】大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（1年生4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育つ子ども～

- 【知識及び技能の基礎】 豊かな体験を通して、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。
- 【思考力・判断力・表現力の基礎】 気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
- 【学びに向かう力・人間性等】 できるようなったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

- ア：健康な心と体
- イ：自立心
- ウ：協同性
- エ：道徳性・規範意識の芽生え
- オ：社会生活との関わり
- カ：思考力の芽生え
- キ：自然との関わり・生命尊重
- ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ケ：言葉による伝え合い
- コ：豊かな感性と表現

市共通版「架け橋期のカリキュラム」

★架け橋期 小学1年生 4月～3月

市共通版「架け橋期のカリキュラム」

★架け橋期 小学1年生 4月～3月

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	1年生 第一期	1年生 第二期	1年生 第三期	1年生 第四期	1年生 第五期	1年生 第六期	1年生 第七期	1年生 第八期	1年生 第九期	1年生 第十期	1年生 第十一期	1年生 第十二期
ねらい	・ 小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。	・ 小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。
知識及び技能の基礎	・ 楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど）のよさを体感し、進んで実践しようとする。（アイウエカ）	・ 生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもってマナーを守って行動したりしようとする。（アエカ）	・ 学校や道、公園などで安全に生活するために付き、守って行動しようとする。（アエカ）	・ 聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちを返したりする。（ウエカ）	・ 言葉遊びに楽しみ、詩のまじりや言葉の響きを楽しむ。（ウエカ）	・ 植物の栽培や観察を通して、自然の不思議さを実感する。（アエカ）	・ 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れて、よりよい方法を考える。（ウエカ）	・ 自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝える。（ウエカ）	・ 秋の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊ぶ。（ウエカ）	・ 身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを言葉や絵、歌や身体動作などで表現したり、生活に生かしたりする。（ウエカ）	・ 友達のよいところを見付け、お互いのよさを認め合う人切さに気づき、温かい学校をつくらうとする。（ウエカ）	・ 友達や家族に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じ、自分の役割を果たそうとする。（ウエカ）
思考力・判断力・表現力の基礎	・ 友達と一緒に楽しく運動や遊びに遊び、身体を動かす気持ちよさを味わう。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）
学びに向かう力・人間性等	・ 新しく出会う先生や友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）

?

単元の構成を
明記

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
期	1年生 第一期	1年生 第二期	1年生 第三期	1年生 第四期	1年生 第五期	1年生 第六期	1年生 第七期	1年生 第八期	1年生 第九期	1年生 第十期	1年生 第十一期	1年生 第十二期
ねらい	・ 小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。	・ 小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。	・ たくましく、意欲的に活動や学習に取り組む。
知識及び技能の基礎	・ 楽しく生活するために大切なこと（元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど）のよさを体感し、進んで実践しようとする。（アイウエカ）	・ 生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもってマナーを守って行動したりしようとする。（アエカ）	・ 学校や道、公園などで安全に生活するために付き、守って行動しようとする。（アエカ）	・ 聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちを返したりする。（ウエカ）	・ 言葉遊びに楽しみ、詩のまじりや言葉の響きを楽しむ。（ウエカ）	・ 植物の栽培や観察を通して、自然の不思議さを実感する。（アエカ）	・ 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れて、よりよい方法を考える。（ウエカ）	・ 自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝える。（ウエカ）	・ 秋の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで試したり工夫したりして遊ぶ。（ウエカ）	・ 身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、感じたことや想像したことを言葉や絵、歌や身体動作などで表現したり、生活に生かしたりする。（ウエカ）	・ 友達のよいところを見付け、お互いのよさを認め合う人切さに気づき、温かい学校をつくらうとする。（ウエカ）	・ 友達や家族に感謝し、みんなの役に立つ喜びを感じ、自分の役割を果たそうとする。（ウエカ）
思考力・判断力・表現力の基礎	・ 友達と一緒に楽しく運動や遊びに遊び、身体を動かす気持ちよさを味わう。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 友達の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）
学びに向かう力・人間性等	・ 新しく出会う先生や友達と進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさを感じる。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）	・ 相手の考えや気持ちを尊重し、自分の考えや気持ちを伝えようとする。（アイウエカ）

?

単元の構成を
明記

(6) モデル地区「架け橋充実期のカリキュラム全体計画」

祝園内小学校区 架け橋充実期のカリキュラム全体計画 (5歳10月～1年生7月)

架け橋の目指す子ども像		大抵作	児童の人やや環境と主体的に関わり、学び喜びをしながらやめると共に育ち合う子ども
祝園内小学校区		幼稚園から	夢や目標を持ち進んで学ぶ子ども (ドリームグリーン)
		楽しんで	自分も友達も大切にしながらやめると共に育ち合う子ども (ドリームグリーン)
		育ちあ	あきらめずに挑戦し、やりとげる子ども (チャレンジ)
目標	10	11	12
生活	生活と遊びを大切にし、思いやり、助け合い、協力し合う態度を育て、生活の喜びや楽しさを味わう。	生活と遊びを大切にし、思いやり、助け合い、協力し合う態度を育て、生活の喜びや楽しさを味わう。	生活と遊びを大切にし、思いやり、助け合い、協力し合う態度を育て、生活の喜びや楽しさを味わう。
学習	学習の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、学習の成果を味わう。	学習の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、学習の成果を味わう。	学習の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、学習の成果を味わう。
健康	健康の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで運動する態度を育て、健康の成果を味わう。	健康の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで運動する態度を育て、健康の成果を味わう。	健康の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで運動する態度を育て、健康の成果を味わう。
文化	文化の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで表現する態度を育て、文化の成果を味わう。	文化の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで表現する態度を育て、文化の成果を味わう。	文化の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで表現する態度を育て、文化の成果を味わう。
社会	社会の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで関わる態度を育て、社会の成果を味わう。	社会の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで関わる態度を育て、社会の成果を味わう。	社会の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで関わる態度を育て、社会の成果を味わう。
自然	自然の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで観察する態度を育て、自然の成果を味わう。	自然の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで観察する態度を育て、自然の成果を味わう。	自然の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで観察する態度を育て、自然の成果を味わう。
芸術	芸術の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで表現する態度を育て、芸術の成果を味わう。	芸術の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで表現する態度を育て、芸術の成果を味わう。	芸術の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで表現する態度を育て、芸術の成果を味わう。
英語	英語の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、英語の成果を味わう。	英語の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、英語の成果を味わう。	英語の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、英語の成果を味わう。
外国語	外国語の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、外国語の成果を味わう。	外国語の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、外国語の成果を味わう。	外国語の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、外国語の成果を味わう。
情報	情報の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、情報の成果を味わう。	情報の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、情報の成果を味わう。	情報の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、情報の成果を味わう。
総合	総合の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、総合の成果を味わう。	総合の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、総合の成果を味わう。	総合の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、総合の成果を味わう。
その他	その他の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、その他の成果を味わう。	その他の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、その他の成果を味わう。	その他の喜びや楽しさを大切にし、自ら進んで学ぶ態度を育て、その他の成果を味わう。

●「架け橋期に期待する姿」 ●期ごとの「ねらい」

● 期ごとの「小学校区で目指す子どもの姿」
※子どもの実態や課題の協議から焦点化された3つの重点

●「共通して充実を目指す活動・体験」
※園と小学校が具体的に協議する

●「交流活動・行事・ふるさとキャリア活動」
☆子ども交流 ★職員交流

●「環境の構成、援助のポイント」 ●「家庭との連携」
※具体的な展開例の解説を別添資料とする

(7) カリキュラムを意識した指導 「お話作り・劇遊びをしよう」

(釈迦内保育園 5歳児)

カリキュラム作成研修資料 p 20・21

釈迦内小学区の実践より

◆**目指す子どもの姿** 「協力し合う子ども（協働性）」

「遊びや生活の中で、嬉しかったことや悲しかったこと、できるようになったことなどを友達と伝え合って共有したり、共感し合ったりする喜びを味わう」

→◆**共通して充実を目指す活動・体験**

<さくらタイム>遊びや活動を振り返り、
明日の遊びにつなげる。



(8) カリキュラムを意識した指導 (1年生5～6月)

「かかりのしごとをしよう」

カリキュラム作成研修資料p 5, 26・27

◆育みたい資質・能力



○学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、学級の生活を自分たちで工夫しようとする。

イ：自立心

ウ：協同性

オ：社会生活との関わり

○聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちなどの反応をしながら聞いたりする。

ウ：協同性

エ：道徳性・規範意識の芽生え

ケ：言葉による伝え合い

○経験したことや身に付けたことを生かしたり、友達の考えを取り入れたりして、よりよい方法を考える。

ウ：協同性

カ：思考力の芽生え

ケ：言葉による伝え合い

(9) 架け橋カリキュラムの作成・周知に向けて

- 「カリキュラム作成研修資料」の活用
- 幼保小連携便り「つなぐ」による周知
- 作成の手引きの活用

○作成の手順・ポイント

○各小学校区の取組状況の紹介





(10) 5年度の取組の流れ（モデル地区以外）

- 4月～市教委が校長会で資料配付、説明、協力依頼
「小学校側から、声をあげてください」
- 5月17日～「幼保小連携推進会議」資料配付、作成手順の説明、
小学校区ごとの年間計画
- 6月1日～「幼保小担任研修会」資料配付、作成手順の説明
*** 田村学先生の架け橋プログラムに係る講演会**
- 1学期～相互に保育・授業を参観
- 夏休み～「**カリキュラム作成合同会議**」課題や目指す子どもの姿、
共通して充実を目指す活動・体験を協議
- 2学期～子ども同士の交流活動、教職員同士の研究協議
- 冬休み～「**カリキュラム作成合同会議**」共通して充実を目指す
活動・体験、交流活動・行事の欄を作成
- 3学期～小学校区としての素案完成→次年度に実践しながら検証・改善

3 教師・保育者の指導・援助と子どもの学びの変化



(1) 小学校区のチームワーク

- 異質なものが出会うことで「**化学反応**」が生まれる
 - ・・・気付きから生まれる自らの保育・教育の見直し
- 顔が見えるおつきあいで「**仲間意識**」「**主体性**」「**発展**」が生まれる
 - ・・・交流や連携のわくわくするアイデア、気軽な交流
- 「子ども」を中心に据えた幼保小中教育の「**融合**」が生まれる
 - ・・・学区の課題や目指す子どもの姿を共有
家庭や地域と一体になった取組へ

大人たちの
共感的協働力

(2) 小学校1年生担任



- 園生活や就学前の育ちを知り、子どもを信じて任せる授業へ転換
- 一人一人の違いを尊重する姿勢、肯定的な見方、言葉かけ
- 成功させるための準備よりも、思いや願いの醸成を重視
- 子どもが話したくなる、考えたくなる仕掛け、授業展開
- 子どもの発達に合った指導や援助

(3) 5歳児担任

- カリキュラムに示された資質・能力や「10の姿」への意識
- 身につけたい資質・能力を引き出す意図的な環境の構成
- 子どもの発達を見取る、見通す目

(4) 5歳児 向陽こども園 (9月)



- 切実な願いが、**主体性**や**協同性**を引き出す
- 話し合いの充実が、**意欲**や**共感性**につながる

チョコバナナは、役割を決めてできてよかった。バナナが取りにくいからまっすぐ立てたい。台をもっとかわいくしたい。

くじの景品が足りなくなった。もっと作ればよかった。



もっと新しいお店もやりたい。たこ焼き屋さんとか、金魚すくいとかやったら喜んでくれるんじゃない。

おばけ屋敷をもっと怖くしたい。お客さんに、おばけを作ってプレゼントしたい。

発展した遊びを終えての振り返り

- ・前よりも進化したから、もっと楽しいお店になった。
- ・新しい金魚すくいの店にもいっぱい来てくれた。
- ・役割分担がちゃんとできた。
- ・台を丈夫にしたからよかった。・飾り付けがよかった。

(5) 釈迦内小学校1年生 算数 (9月)

- 5歳児の「振り返り」の経験が、そのまま1年生の姿へ引き継がれる
- 受容的な雰囲気、肯定的な反応で、共感性はさらに伸びる
- みんなで考えを出し合い、解決に向かうことで協働性が高まる

自分でめあてを見つけた
り、自分たちの言葉で授
業のめあてを作ったりす
る姿

声が小さい子が発表
する時「静かにし
て。」「頑張れ。」と
いう声が自然とあが
る。時間が掛かって
もきちんと待つ姿。



「同じだよ」「質問が
あります」「だってこ
れは〇〇だからだよ。」
「でも〇〇…」と、友
達の意見を聞いて答え
る姿

なぜそう考えるのかの理由を
話したり、友達の話をよく聞
いて付け足しや反対の意見
を出し合ったりする姿

(6) 1年生 花岡小学校 算数 (10月)

自立心

言葉による伝え合い

数量や図形、
標識や文字
などへの関
心・感覚

思考力の
芽生え

道徳性・
規範意識

まとめの文はど
うしたらいい？

めあての答えにな
るようにしようよ。

今日の学習は、500円持っ
てて、300円ガチャガチャ
に使って、また400円も
らった時の計算に使えと思い
ました。

協同性

社会生
活との
関わり

おおだて型学力の育成に確信



次回の交流に向

4 次年度以降の展望



- 全17小学校区のカリキュラムを活用しての各園の保育の計画、年間指導計画の見直し
- 架け橋カリキュラムを基にしたアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの実践展開
- 架け橋期の育ちと学びの重要性を家庭や地域へ啓発
- 人事異動による関係者の入れ替えのため、架け橋期のカリキュラムに関する研修は毎年継続
- 3年次のカリキュラム開発会議委員の再編・拡大

関係する小学校区の架け橋カリキュラムを基にして 「アプローチ・スタートカリキュラム」「5歳児の週案・月案」等を作成→検証

幼稚園教育要領
認定こども園教育・
保育要領
保育所保育指針

小学校学習指導要領
総則・生活科



複数校に
入学する場合は？

市共通版
架け橋期のカリキュラム

セレクト&オリジナリティ

A小学校区版
カリキュラム

B小学校区版
カリキュラム

C小学校区版
カリキュラム

D小学校区版
カリキュラム

E小学校区版
カリキュラム

A園アプローチカリキュラム
(保育の計画)

C小学校
スタートカリキュラム

B園アプローチカリキュラム
(保育の計画)

架け橋カリキュラム作成の手順とポイント

【R5年度 モデル地区以外の小学校区】

ステップ1 お互いの生活や学びの様子、子どもの育ちを知ろう

主に1学期・夏休み

○お互いを理解するための研修や情報交換、交流を進めます。

園内、校内の研修で「架け橋プログラム」の意義や考え方、ねらい、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」などを研修し、全職員で共通理解しよう。

【実践事例】城西小学校学区（資料集P8～）

就学前の発達に関する研修会を実施。小学校の全職員と各園の主幹教諭保育教諭が参加し、「協働力」を体感するゲームや校長先生の講話、グループ協議などにより幼児教育への理解を深めました。



【実践事例】R5.8.7 上川沿小学校学区研修会

大館市教育委員会訪問を活用し、小学校全職員と南が丘こども園の保育教諭が参加して研修を行う予定です。

- 1 講話（市教育委員会副主幹山本先生）
 - ・「架け橋プログラム」の意義とねらい
 - ・大館市の取組
- 2 架け橋カリキュラム作成合同会議
 - ・上川沿小学校学区の「目指す子どもの姿」について、子どもの姿を基に語り合う。

○子どもの実態を交流し、お互いの保育・教育内容や指導方法について理解し合います。

- ・保育参観、授業参観、情報交換、保育体験などを通して、お互いの保育、教育を見合い、一日の生活の様子や子どもとの関わり方などについて理解し合おう。
- ・「10の姿」を視点に参観し、お互いの子どもの学びと育ちについて語り合おう。

【実践事例】釈迦内小学校学区（資料集P12～）

小学校生活科の授業に各園の主任、5歳児担任がTTとして参加し、研究協議では「10の姿」を視点に子どもの姿を語り合った。「学びや育ちのつながり」に気付くことができる研修となりました。



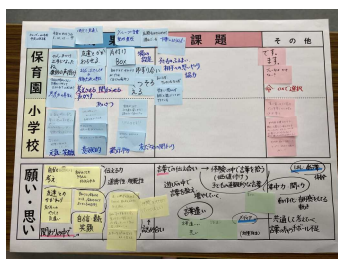
【実践事例】花岡小学校学区（資料集P16～）

保育参観後、小学校教諭も研究協議に参加し、「10の姿」を視点に子どもの育ちを語り合っている。年間を通して交流活動が位置付けられているため、育ちのつながりを意識した話し合いにつながっています。



【実践事例】R5.6.29 西館小学校学区研修会

事前に行った5歳児の保育参観、1年生の授業参観の後、子どもの姿を基にして「よさ」や「課題」、「どんな姿を目指したいか、願い」などを話題にしてワークショップを行いました。



○学校区の「期待する子どもの姿」期ごとの「ねらい」の方向性を共有します。

～「接続の視点」を意識した情報交換を～

幼児が遊びを通して環境や友達と関わり学びを深める様子を「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」や「主体的、対話的で深い学びの実現」など、共通の視点で語り合い、「1年生の終わりまでにはどのような姿になってほしいのか」を共有しましょう。

☞ 資料集p8～19「モデル地区の実践」を参照。

架け橋カリキュラム作成の手順とポイント

【R5年度 モデル地区以外の小学校区】

ステップ2 「期待する子どもの姿」を共有しよう

○幼保小合同会議で、学校区の「ねらい」、「目指す子どもの姿」「共通して充実を目指す活動・体験」について、子どもの姿を基にして話し合います。

①学校区の「架け橋期に期待する子どもの姿」を子どもの実態等を基に話し合い共有します。

○何を基にして考えるのか、例として・・・

- 3要領・指針、学習指導要領で育みたい子どもの姿
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
- 大館市の方針「架け橋期に期待する子どもの姿」
- 園、小の目標、目指す姿、重点としていること
- 学校区の子どもの実態「よさ」や「課題」
- 地域や保護者の願い □学校区の特徴 など

②市の共通版の「目指す子どもの姿」を、学校区の子どもに合わせた見直す、または、重点とするなどで表します。

③市の共通版の期ごとの「ねらい」を、学校区の子どもに合わせた見直します。

○それぞれの「子どもの姿」をチェックします。

④「架け橋期に期待する子どもの姿」、「ねらい」、「目指す子どもの姿」の整合性はあるか。

⑤「ねらい」「目指す子どもの姿」は、期ごとに質の高まりがあるか。

ステップ3 「具体的な活動や体験」を位置づけよう

○「目指す姿」に向かうためにどんな活動や体験を重点とすることを明らかにします。

⑥学校区で「共通して充実を目指す活動・体験」の項目（共通の視点）を決めます。

○活動・体験は・・・

□学校区の自然や特色を生かす。

・ふるさとキャリア活動や地域の伝統文化、行事、季節の自然や文化を取り入れた活動などを位置付ける。

□子ども同士の交流活動を位置付ける。

・新しい交流の設定もあると思うが、今行っている活動を「ねらい」に合わせて内容を見直すことも必要。

□活動・体験を通して何を育てたいか明らかにする。

・「10の姿」で表す。（釈迦内学区） ・重点を記号で表す。（花岡学区）

城西小学校区 モデル地区架け橋実期のカリキュラム全体計画

期	10	11	12	1	2	3
①	架け橋期に期待する子どもの姿 大館市 児童の心や生活と主体的に関わり、学び喜びや楽しさを体験しながら仲間と共に育ち合う子ども 城西小学校 豊かな心を育み、学び喜びや楽しさを体験しながら仲間と共に育ち合う子ども					
③	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
②	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
⑥	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
⑦	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
⑧	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
⑪	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
⑫	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					
⑬	<p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p> <p>自分や友達と一緒に楽しんだり、話し合ったり、折り合いを付けたりしながら生活の目的に向かって遊びや生活を楽しむ姿を養う。</p>					

○カリキュラム作成合同会議参加者（例）

- ・園長、校長または教頭、
- ・教務主任、主任・主幹教諭、
- ・5歳児担任、1年生担任 など

○準備する物（例）

- ・カリキュラム作成研修資料集
- ・模造紙・付箋・マジック
- ・園経営方針、学校経営計画 など

○進め方（例）

- 1 はじめのあいさつ（小学校校長）
- 2 自己紹介
- 3 5歳児、1年生の1学期の様子について（担任）
- 4 「架け橋期に育ってほしい姿」「目指す子どもの姿」・・・等の協議
- 5 次回合同会議までの見通し
- 6 終わりのあいさつ（園長・所長）

ステップ3 「具体的な活動や体験」を位置づけよう

○期ごとの「目指す子どもの姿」に対する「経験させたい内容」を設定します。

○単元の構成と配列をします。(小学校)

⑦幼児期の遊びを通した学びが発揮出来るように、また、児童の思いや願いをきっかけに始まる学びが自然に教科学習につながるように、生活科を中心とした合科的・関連的な指導を工夫します。

👉 資料集p24～31「カリキュラム展開例」を参照。

○朝・帰りの会や特別活動なども位置付けます。

⑧行事や朝・帰りの会、「学び合いタイム」や「読書タイム」「給食」「清掃」などの時間も含めて活動を位置付けます。

○実施時期を工夫します。

⑨季節や園・小の行事、活動のねらい等を考慮し、より効果的に展開できる時期に位置付けます。

○それぞれの活動や体験をチェックします。

⑩園・小の行事、FC活動、子ども・職員同士の交流などが効果的に位置付けられているか、無理なく実施できるかなどをチェックします。

※複数園、小がある場合は、活動を通して何を育てるか「ねらい」を同じにし、共通した活動名を付けてもよいし、自園、自校なりの活動名を付けてもよいです。

<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校探検や春探しなどから、伝えたいことを選んだり、伝え方を工夫したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> あさがを、
<ul style="list-style-type: none"> 自分のよいところや夢、できるようになりたいこと等、絵や言葉で表したり、友達と伝え合ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ひまわりを
<ul style="list-style-type: none"> 新しく出会う友達や教師と進んで関わり、一緒に活動する楽しさや喜びを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 上級生と
<ul style="list-style-type: none"> 楽しく学習や生活をするために大切なこと（返事や挨拶、約束やマナー、言葉遣いなど）に気付き、進んで実践しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取り
<ul style="list-style-type: none"> 学校生活に見通しをもって、自分でできることは自分ですらうとしたり、学習の準備を意欲的に行ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しんで決
<ul style="list-style-type: none"> 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守りながら誰とも仲よく運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習や

(1年) 楽しかったことや気付いたことなどを友達に伝え合う。 ⑧

<p>7</p> <p><かっこつだいすき> (生活) (アイウエオカケゴ)</p> <p>友達や先生と自己紹介し合ったり、学校探検で見たものを友達と伝え合う。</p> <p>道徳「どうせよろしく」</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介カードに名前を書く。 「なんていおうかな」 道徳にちよひ言葉や動作を考える。 「なんでも、みつけよう」 学校探検で見つけたものを友達と伝え合う。 園工「すきなもの いっぱい」 すきなものを自分のけいたにものを絵に表す。 道徳「どうしてこうなるのかな」 楽しく生活するためのルールやマナーをまえる。 体育「体ほくしの運動遊び・固定施設遊び」 友達と一緒に校庭遊具で遊んだり、かづしをにわたりする。 音楽「うたでなかよし」「なまえあそび」 園で歌っている歌や歌を歌う。 名前でリズム遊びをする。 	<p><なりだいたい自分に向かって> (生活) (アイウエオカケ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことや得意なこと、できるようにになりたいこと、夢などを考え、キャリアノートに書いて友達と伝え合う。 道徳「みんなじょうず」 自分のよいところを見付ける。 <p>くみんなで かを合わせて (アイウエオ) 体育「走の運動遊び」</p> <p>かっこつや玉入れ競争、ダンスなどの運動遊びに取り組み、</p> <ul style="list-style-type: none"> 順番やきまりを守り、誰とも仲よく遊んだり、園の安全に気を付けたりする。 <p>特活・縦割り班の人と一緒に仲間になろう。</p> <p>特活「運動会でがんばりたいこと」</p> <p>目標を決めて取り組み、</p>
--	---

ある園では、秋の発表会に向けて、子どもたちがシナリオ作りや道具作りなどのアイディアを出し合い自分たちで創っていく姿を目指して十分に時間を保障したいと考え、運動会を秋から春に変更しました。

ステップ4 「環境の構成や援助・支援」「家庭との連携」を記入しよう

○「活動や体験」に対する「環境の構成と援助のポイント」「家庭との連携」を記入します。

(市の共通版の内容を見直します。)

⑪「共通して充実を目指す活動・体験」が効果的に実施されるようにするための環境の構成(○)と援助・支援のポイント(☆)を記入します。

⑫「共通して充実を目指す活動・体験」が効果的に実施されるようにするための「家庭との連携」を記入します。

⑬家庭との連携には、市で重点としている「メディアコントロール力」を高めるための研修や生活の見直しの啓発なども位置付けます。

ステップ5 架け橋期のカリキュラムをもとに実践しよう

○幼保小合同会議で、学校区の「架け橋期に期待する子どもの姿」を基に、「年間指導計画」や「アプローチカリキュラム」「スタートカリキュラム」を見直します。

①年間指導計画やアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの「目指す子どもの姿」や活動の「ねらい」等を、「架け橋期に期待する子どもの姿」を基に見直し、重点化します。

②各活動や体験で身に付けたい資質・能力や活動の内容を「小学校区で目指す子どもの姿」を基に見直し、重点化します。

○「共通して充実を目指す活動・体験」を実践し、検証します。

③合同会議で「共通の視点」を確認し合い活動・体験の意図を共有する。

④保育・授業を参観し合ったり交流活動やTT、保育体験、交流活動等で保育や授業に参加したりして、子どもの学びの実態やつながり、先生の関わり方を共通理解し、実践する。

⑤活動のねらいが適切だったか、また達成されたかを検証し見直しする。

○事前・事後の打ち合わせのポイント

【事前の打ち合わせ】

- ・カリキュラムの「どの期のどの姿」に基づいた活動かを明確にし、活動によって「育てたい力」を共通理解する。
- ・子どもが主体的に遊びや学びを広げていける支援や援助を共通理解し、協働的に進められるようにする。

【事後の協議】

- ・子どもの姿についての一人一人の気付きや見取りを大切に、幼小それぞれの立場からの見方や考え方を理解する。
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、ねらいの達成状況や環境の構成、先生の関わりを検証する。
- ・日々の実践や今後の取組に生かせる情報交換をする。

ステップ6 架け橋期カリキュラム(5歳児前期、1年生後期)を作成しよう

○ステップ2～4を参考に作成します。

①5歳児は4歳児からのつながり、1年生は2年生へのつながりを意識して「目指す子どもの姿」や活動・体験を考える。

ステップ7 架け橋期カリキュラムの評価・見直しをしよう

○カリキュラムの実践を通して、子どもの育ちを丁寧に見取り、「育ってほしい子どもの姿」につながっているかを評価し、子どもの実態に応じて改善しましょう。

□「架け橋期に期待する子どもの姿」(大館市・学校区)、「目指す子どもの姿」(大館市・学校区)は、子どもの実態に合ったものでしたか？

□各学校区の「共通の視点」(重点的に育てたい力)は、子どもの実態に合ったものでしたか？

□「共通して充実を目指す活動・体験」の内容や時期は、適切でしたか？

□「環境の構成・援助」「家庭との連携」は、適切でしたか？

□子どもの交流、職員の交流は、年間を通して意図的・計画的に実施されましたか？

□カリキュラムの作成、実践は、子どもの育ちや学びのつながりを意識した保育・教育につながりましたか？

□具体的な子どもの姿を基に評価したことを共有し、次の改善につなげましたか？

大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（１年生４月～３月）

架け橋期に期待する子どもの姿 ～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～																
<div>【知識及び技能の基礎】豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。</div> <div>【思考力・判断力・表現力の基礎】気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。</div> <div>【学びに向かう力・人間性等】できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。</div>																
<div>ア：健康な心と体</div> <div>イ：自立心</div> <div>ウ：協同性</div> <div>エ：道徳性・規範意識の芽生え</div> <div>オ：社会生活との関わり</div> <div>カ：思考力の芽生え</div> <div>キ：自然との関わり・生命尊重</div> <div>ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</div> <div>ケ：言葉による伝え合い</div> <div>コ：豊かな感性と表現</div>																
月期	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ねらい	小学校1年 第1期				小学校1年 第2期				小学校1年 第3期				小学校1年 第4期			
知識及び技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性等	・ 小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、 学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する。				・ 小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、 共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。				・ たくさんの友達との関わりの中で、 相手の思いや願いを感じながら自分の思いを表現し、主体的に活動や学習に取り組む。				・ 自分や友達の成長に気付き、 お互いに認め合い、相手の気持ちを尊重しながら、自信をもって活動や学習に取り組む。			
	・ 楽しく生活するために大切なこと（ 元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど ）のよさを実感し、 進んで実践 しようとする。（アイウエオ） ・ 友達と一緒になかよく運動や遊びに組み、 身体を動かす気持ちよさや楽しさ を味わう。（アイウ） ・ 新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆などの正しい使い方、姿勢などの 学習の約束を進んで生かそう とする。（イエ） ・ 気付いたことや思ったことを 進んで話し 、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことに 注意して聞こう とする。（イク） ・ 本に興味をもって 読み聞かせを聞いたり 、学級文庫などから 読みたい本を見付けて読もう とする。（オコ）				・ 生活のリズムが身に付き、 活動に見通しをもって準備したり約束やマナーを守って行動 したりしようとする。（アイエオ） ・ 学校や通学路、公園などで 安全に生活するために大切なこと に気付き、 守って行動しよう とする。（アエオ） ・ 聞き手を見て話したり 、話し手に共感して相づちなどの 反応をしながら聞いたり する。（ウエケ） ・ 言葉遊びに親しみ、 語のまとまりや言葉の響きを感じながら音読 する。（クケコ） ・ 植物の栽培や観察などを通して、 自然の不思議さや面白さ に気付いている。（カキ）				・ 体を動かして遊んだり、食事や手洗い、うがい、汗の始末をしたりなど、 健康な生活について考え、進んで実践 しようとする。（アイエ） ・ 身近なことを表す 語句の量を増やし、話や文章の中で使う とともに、 語彙を豊かに する。（クコ） ・ 植物や虫などが 生命をもっていることや成長していること、生命をつないでいること に気付いている。（カキ） 秋や冬になるといつも同じ現象が起こるなど、 自然に一定のきまりがあること に気付いている。（カキ） ・ 図書館の使い方やマナーを守って 読みたい本を選び、読書に親しむ 。（エオコ）				・ 学習の見通しをもって、 積極的に友達の話聞き、質問や感想を述べよう とする。（イク） ・ 1年生の初めに書いた 文字や絵などと今を比べ、自分の成長に気付く 。（イオ） ・ 自分で できるようになったことや、自分の役割が増えたこと など、 自分の成長に気付く 。（アイオ） ・ 言葉には意味による 語句のまとまり があることに気付き、 語彙を豊かに する。（クコ） ・ 冬の遊びや伝統行事への参加を通して、 季節に合わせて自然や生活の様子に変化していくこと に気付く。（オキ）			
	・ 気付いたことや思ったこと、想像したことなどを 友達とやり取りする楽しさ を味わう。（カケコ） ・ 身近なことや経験したことなどから 伝えたいことを選び、絵や言葉で表現 する。（カクケコ） ・ 身近な場所の春の様子を観察して 季節の変化に気付き、友達と伝え合ったり遊びや生活に取り入れ たりする。（カキ） ・ 学校探検で見付けたことや分かったことを自分の 生活との関わりで捉え、友達と伝え合う 。（カケコ） ・ 身の回りの事象や具体物と関連させながら、 ひらがなや数量、形などを実感として捉える 。（カク）				・ 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、 よりよい方法を考える 。（ウカケ） ・ 伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選ぶ 。（カケコ） ・ 夏の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで 試したり工夫したりして遊びを創り出す 。（カケコ） ・ 身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、 感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現 したり、 生活に生かしたり する。（カキクケコ） ・ 身の回りにある数やものの順序、長さなどの 比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現 する。（カクケ）				・ 話したいことの 順序に気を付けながら分かりやすく伝えたり、理由を付けて説明 したりする。（カケ） ・ 友達の話を聞いて、 質問したり感想を伝えたり、相手の発言を受けて話をつないだり している。（カケ） ・ 友達の話を聞いて、 質問したり感想を伝えたり、相手の発言を受けて話をつないだり している。（カケ） ・ 学習や生活を見直し、さらに楽しくするために工夫できることや新しい約束などを考え話し合う 。（イウエケ） ・ 既習を活用したり、ペアやグループで相談 したりして、 よりよい考えを見付ける 。（ウカケ） ・ 木の実など秋の自然を生かし、 作りたいものに合った材料を選んだり遊び方を考えたり して作る。（カキケ） ・ ものを種類ごとに 分類整理 したり 10のまとまり を作ったりして、 簡単な絵や図を用いて表す 。（カク）				・ これまでの学習や経験を生かし、 事柄の順序に沿って構成 を考えて1年間の思い出を書く。（ケコ） ・ 雪や氷の特徴を生かした遊び を何度も繰り返し、友達と 遊びを発展させる 。（ウカキ） ・ 入学した頃の自分と今の自分を比較して、 自分のできるようになったこと を探したり、実際に やってみたり する。（イオカ） ・ 数量の関係に着目して、 図を用いて問題の解決方法を考え 自分や友達の 考えを式や言葉を用いて説明 する。（カクケ） ・ 新しい1年生に学校のことを 分かりやすく伝えるために、方法を工夫 する。（ウオカケコ）			
・ 新しく出会う先生や友達と 進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさ を感じる。（イウオ） ・ 相手や場に応じたあいさつや言葉遣い、表情や姿勢 などを考えて、 進んで関わろう とする。（イオケ） ・ 相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、 気持ちを調整しながら楽しく生活 しようとする。（ウオ） ・ 自分でできることや 当番、係の仕事 を、友達と協力し合いながら、 進んでしよう とする。（アイウ）				・ 学級をより楽しくするために係の仕事を見直すなど、 学級の生活を自分たちで工夫 しようとする。（イウオ） ・ 目標に向かって自分の力を発揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、 お互いのよさを理解し連帯感や所属感を深める 。（アイウ） ・ 身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、 親しみをもって関わり、命を大切にしよう とする。（アエキ） ・ 学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と 関わることを楽しみ、地域への親しみを深めるとともに、感謝の気持ちを感じながら自分ができることをしよう とする。（イオ）				・ 友達のよいところを見付け、 お互いのよさを認め合う 大切さに気付き、 温かい学級をつくらう とする。（イウエ） ・ 友達や家族に感謝し、 みんなの役に立つ喜び を感じながら 自分の役割を果たそう としている。（イウオ） ・ 喜んでもらえる活動や場に適した話し方や接し方を考えて、 高齢者や年長児との交流を楽しむ 。（イエオ） ・ 学習や生活の 過程や結果を振り返り、よさや楽しさを感じながら学ぼう としている。（ウオ）				・ 自分や友達の成長に気付き、 互いに認め合い、これから自分の得意なことを生かしながら役割を果たしていこう とする。（アイウ） ・ 郷土の文化や習慣、他国の言葉や文化 などに触れ、慣れ親しむ。（オ） ・ 1年間の学習や生活を振り返り、 周囲の人々に支えられて成長してきたことを実感し、2年生への願いをもって意欲的に生活 しようとしている。（アイオ） ・ 「6年生を送る会」や卒業式の準備や練習を通して、 6年生に感謝の気持ちをもつ 。（オ）				
★行交贈子事流員ど・活交もF動流交C流	始業式 入学式 1年生を迎える会 給食開始 学校探検 PTA授業参観・懇親会 交通安全教室・下校指導 縦割りの清掃班スタート集会 ★就学支援ファイル活用				運動会 家庭訪問 避難訓練 ことばとまなびの小テスト PTA授業参観・個人面談 終業式 夏休み ★市夏季研修会 ★保育体験				始業式 秋の遠足 学習発表会 施設訪問 ★プール遊び交流 読書週間 就学時健診 ★小学校市教研総合研への参加 ☆1年生との交流 幼保小連携メディアコントロール週間 終業式 冬休み				始業式 節分 ☆体験入学 ★情報交換会 6年生を送る会 卒業式 修了式 ★要録・個別の教育・保育支援計画の活用			
○☆環境援助の構造成イント	☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり、弾力的に時間割を工夫したりする。				☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付くようにする。				☆ 学級集会や学習発表会など、共通の目的に向かって活動することで、思いを伝え合い協力して創り上げる体験をもてるようにする。 ☆ 縦割り班や異学年の子ども、幼児、高齢者など、関わりを段階的に広げ多くの人と交流することで、相手意識をもって行動できるようにする。 ○ 友達と話し合って考えをまとめたり、試行錯誤したり、振り返ったりする時間を十分に確保し、満足感や達成感をもてるようにする。				☆ 体験入学では新1年生が入学を楽しみにするような活動を工夫できるようにする。 ☆ 「ありがとうカード」や「いいねカード」を交換し、お互いのよさを実感できるようにする。 ☆ 各教科を通して、1年間の成長を認め、2年生の学習や生活への意欲を高める。 ○ 1年間の成長に気付き、自分や友達のよさを実感できるように、子どもの作品やカード、写真などを掲示する。			
家庭との連携	・ 学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・ 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。				・ 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・ 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・ 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。				・ 2学期始まりの準備物や生活リズムの回復について、協力をお願いする。 ・ 生活科「かそくにこにこ大作戦」のねらいや内容を丁寧に伝え、継続してお手伝いに取り組みめるよう協力をお願いする。 ・ 子どもたちの活動の様子や頑張っている姿を伝え、家庭でも褒めたり認めたりしてもらえるようにする。				・ 子どもの成長について、家庭でも褒めたり認めたりしてもらうようお願いする。 ・ 自信をもって進級できるように、子どもが自分では気付かない内面の成長についても気付かせてもらうようにする。 ・ 生活リズムや持ち物など、子どもと一緒に話し合ったり確認したりしながら、進級に向けての準備をしてもらうようにする。			

大館市 架け橋充実期のカリキュラム全体計画（5歳10月～1年生7月）

架け橋期に期待する子どもの姿 ～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～						ア：健康な心と体 イ：自立心 ウ：協同性 エ：道徳性・規範意識の芽生え オ：社会生活との関わり カ：思考力の芽生え キ：自然との関わり・生命尊重 ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 ケ：言葉による伝え合い コ：豊かな感性と表現						
月期	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		
ねらい	5歳児 第3期			5歳児 第4期			小学校1年 第1期	小学校1年 第2期				
知識及び技能の基礎 思考力・判断力・表現力の基礎 学びに向かう力・人間性等	・ 友達と一緒に考えたり、話し合ったり、 折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさ を味わう。			・ 自分や友達のよさが分かり、 認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感 を味わう。			・ 小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、 学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活する 。	・ 小学校の生活や学習に 見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有し、意欲的に活動や学習 に取り組む。				
	ア：健康に関心を持ち、 生活リズムを整えたり、身の回りを整理、整頓 したりする。 ア：収穫した野菜などを友達と一緒に食べたり、遊びに取り入れたりして、 食べ物への関心 を高める。 オ：地域の公共施設や小学校などを訪れ、 場所や状況に応じた約束を知り守ろうと する。 キ：紅葉や落ち葉、冬芽、虫などの様子から、 季節の変化や不思議さ を感じたり、 生命のサイクル に気付いたりする。 ク： 文字や数字、図形、標識などを遊びや生活に取り入れて使うこと を楽しむ。			ア：園生活の 見通し をもち、 時間を意識しながら、気持ちを切り替えて行動 する。 ア：手洗い、うがい、好き嫌いを減らすなど、 健康な生活のために必要なことを進んで行う 。 オ：正月、節分、アメッコ市、ひな祭りなどの 伝統文化を体験し、地域への親しみをもって遊びに再現 する。 ク：友達と一緒に縄跳びやコマ回しの回数を競ったりかるたやトランプなどの枚数を数えて記録したりして遊び、 数字や表の便利さに気付く 。			・ 楽しく生活するために大切なこと（ 元気のよい返事や気持ちを込めた挨拶、約束やマナーなど ）のよさを 実感し、進んで実践 しようとする。（アイウエオ） ・ 友達と一緒になかよく運動や遊びに取り組み、 身体を動かす気持ちよさや楽しさ を味わう。（アイウ） ・ 新しい学習に興味をもち、教科書や鉛筆などの正しい使い方や姿勢などの 学習の約束を進んで生かそう とする。（イエ） ・ 気付いたことや思ったことを 進んで話し 、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことに 注意して聞こう とする。（イケ） ・ 本に興味をもって 読み聞かせを聞いたり 、学級文庫などから 読みたい本を見付けて読もう とする。（オコ）	・ 生活のリズムが身に付き、活動に 見通しをもって準備 したり 約束やマナーを守って行動 したりしようとする。（アイエオ） ・ 学校や通学路、公園などで 安全に生活するために大切なこと に気付き、守って行動しようとする。（アエオ） ・ 聞き手を見て話したり 、話し手に共感して相づちなどの 反応をししながら聞いたり する。（ウエケ） ・ 言葉遊びに親しみ、 語のまとまりや言葉の響きを感じながら音読 する。（クケコ） ・ 植物の栽培や観察などを通して、 自然の不思議さや面白さ に気付いている。（カキ）				
	カ：遊びに必要な物の イメージを友達と共有 しながら、 素材や用具の特性を生かして製作し、遊び方を工夫 する。 キ：身近な自然や偶然出会った 自然の変化 に関心を持ち、 言葉で表現したり、調べたり試したり して遊ぶことを楽しむ。 ク：空き箱や紙などの形や大きさ、長さなどを捉え、 組み合わせを考えながら作り上げる ことを楽しむ。 ケ：遊びを振り返って 楽しかったことや困ったこと、明日やりたいこと などを 言葉で伝え合う 。 コ：絵本や物語などのお話の世界を 豊かに想像し、イメージを広げて遊びに取り入れたり、言葉の楽しさや美しさ に気付き、言葉を豊かにする。			カ：友達と一緒に遊びながら、 共通の目的をもってアイデアを出し合い、試行錯誤する過程を楽しむ 。 キ：気温などの条件により雪質や氷のでき方が違うことなどから、 自然現象への関心を高め、試して遊ぶ楽しさ を味わう。 ク：文字には 人に思いを伝える役割 があることに気付き、 手紙などで伝える ことを楽しむ。 ケ：園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した 思い出などを言葉で伝え合い、成長した喜びを味わう 。 コ：みんなで 気持ちを合わせて表現したり聴き合ったりして、響き合いを楽しむ 。			・ 気付いたことや思ったこと、想像したことなどを 友達とやり取りする楽しさ を味わう。（カケコ） ・ 身近なことや経験したことなどから 伝えたいことを選び、絵や言葉で表現 する。（カクケコ） ・ 身近な場所の春の様子を観察して 季節の変化に気付き、友達と伝え合ったり遊びや生活に取り入れたり する。（カキ） ・ 学校探検で見付けたことや分かったことを自分の 生活との関わりで捉え、友達と伝え合う 。（カケコ） ・ 身の回りの事象や具体物と関連させながら、 ひらがなや数量、形などを実感として捉える 。（カク）	・ 経験したことや身に付けたことを生かしたり友達の考えを取り入れたりして、 よりよい方法を考える 。（ウカケ） ・ 伝えたい目的や相手に応じて 、言葉や方法を 選ぶ 。（カケコ） ・ 夏の自然を生かした遊びや水遊びなど、自分たちで 試したり工夫したりして遊びを創り出す 。（カケコ） ・ 身の回りの言葉や数、自然などに興味をもち、 感じたことや想像したことを文章や絵、歌や身体の動きなどで表現 したり、 生活に生かしたり する。（カキクケコ） ・ 身の回りにある数やものの順序、長さなどの 比べ方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現 する。（カクケ）				
	イ：当番の仕事など、 自分がしなければならないことを自覚し、忘れずにやろう とする。 ウ：劇遊びなどで、友達のよさを認め合いながら 役割を分担したり力を合わせたりして遊びを創り上げる ことを楽しむ。 エ：自分の思いを友達に伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、 折り合いをつけて遊ぶ ようとする。 オ： 地域の方々や異年齢児、小学生など 、様々な関わりの中で、 相手や場面にに応じて話したり接したり しようとする。			イ：園生活やクラスの 自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜び を味わう。 ウ：困った時には、友達や先生に 自分から話したり 、お願いしたいことを 伝えたりして、自分たちで解決 しようとする。 エ：楽しく生活するために きまりを守ったり、新たに つくったり、 必要に応じてつくり替えたり しようとする。 オ：園生活を振り返り、 自分の成長や自分が大切にされていること に気付き、 周りの人たちへの感謝の気持ち をもつ。			・ 新しく出会う先生や友達と 進んで触れ合い、一緒に活動する楽しさ を感じる。（イウオ） ・ 相手や場に応じたあいさつや言葉遣い、表情や姿勢 などを考えて、 進んで関わろう とする。（イオケ） ・ 相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして、 気持ちを調整しながら楽しく生活 しようとする。（ウオ） ・ 自分でできることや 当番、係の仕事 を、友達と協力し合いながら、 進んで しようとする。（アイウ）	・ 学級をより楽しくするために 係の仕事を見直す など、 学級の生活を自分たちで工夫 しようとする。（イウオ） ・ 目標に向かって自分の力を発揮したり、友達や上級生と助け合って取り組んだりすることを通して、 お互いのよさを理解し連帯感や所属感を深める 。（アイウ） ・ 身近な生き物の誕生や成長の様子を見つめ、 親しみをもって関わり、命を大切に しようとする。（アエキ） ・ 学校を支えているの方々や地域の方などいろいろな人と 関わることを楽しみ、地域への親しみを深めるとともに 、感謝の気持ちを感じながら 自分ができることを しようとする。（イオ）				
★行交関子事流員ど・活交もF動流交C流	秋の遠足 発表会・お楽しみ会 運動会 ★1年生との交流 ★小学校市教研総合研への参加 就学時健診 ★就学支援委員会 ★幼保小中連携メディアコントロール週間			☆かるた大会 ★教職員研究実践発表会	☆まめまき アメッコ市 ☆体験入学	ひなまつり ★情報交換会 卒園式 お別れ会 ★要録・個別の教育・保育支援計画の送付	始業式 入学式 給食開始 PTA授業参観・懇談会 縦割りの清掃班スタート集会 ★就学支援ファイル活用	1年生を迎える会 交通安全教室・下校指導 ★就学前施設職員授業参観・情報交換会	学校探検	運動会 家庭訪問 避難訓練 ★幼保小連携推進会議	ことばとまなびの小テスト ★幼保小担任研修会	PTA授業参観・個人面談 終業式 夏休み ★市夏季研修会 ★保育体験
○☆環境援助の構 becoming	☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。			☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。			☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感を持ち、落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 ○ 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり、弾力的に時間割を工夫したりする。	☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。				
家庭との連携	・ 就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。 ・ 就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。			・ 卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・ 子どもの頑張りのよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。 ・ 就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるよう協力をお願いする。			・ 学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・ 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。	・ 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・ 規則正しい生活習慣やメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習などを継続する大切さを啓発していく。 ・ 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。				



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体	イ：自立心	ウ：協同性	エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり	カ：思考力の芽生え		
キ：自然との関わり・生命尊重	ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		
ケ：言葉による伝え合い	コ：豊かな感性と表現		

大館市 架け橋期のカリキュラム全体計画（5歳4月～3月）

架け橋期に期待する子どもの姿

～周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども～

【知識及び技能の基礎】	豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かったり、出来るようになったりする。
【思考力・判断力・表現力の基礎】	気付いたことやできるようになったことなどを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。
【学びに向かう力・人間性等】	できるようになったことや分かったことなどを実感し、自分の成長を認め、次の活動や体験への意欲をもつ。



▼幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）

ア：健康な心と体	イ：自立心	ウ：協同性	エ：道徳性・規範意識の芽生え
オ：社会生活との関わり	カ：思考力の芽生え		
キ：自然との関わり・生命尊重	ク：数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚		
ケ：言葉による伝え合い	コ：豊かな感性と表現		

月 期	4	5 5歳児 第1期	6	7	8 5歳児 第2期	9	10	11 5歳児 第3期	12	1	2 5歳児 第4期	3
ねらい	・ 年長としての意欲と自信をもって、自分の力を十分に発揮しながら安心して生活する。			・ 友達と <u>思いを伝え合いながらイメージを共有し、力を合わせて遊びや生活を進めていく</u> 中で仲間意識を高める。			・ 友達と一緒に考えたり、話し合ったり、 <u>折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって</u> 遊びや生活を進める楽しさを味わう。			・ 自分や友達のよさが分かり、 <u>認め合ったり受け入れ合ったりして協力して</u> 、遊びを進める楽しさや <u>やり遂げる満足感</u> を味わう。		
知識及び技能の基礎 育みたい資質・能力	ア：体を動かす <u>楽しさや心地よさ</u> を感じ、いろいろな運動遊びに <u>進んで取り組む</u> 。 ア：災害時の避難の仕方や身の守り方が分かり、 <u>合図や指示に従って行動</u> しようとする。 キ：砂遊びや泥遊びを通して、園庭の土や砂の粒の大きさや性質などの <u>違い</u> に気付く。 ク：縄跳びやフラフープなどの回数を数えるなど、遊びの中で必要感をもって数えることを通して <u>数を実感</u> する。			ア：縄跳びや鉄棒などの <u>遊びに応じた体を動かすコツをつかみ、十分に体を動かして遊ぶ</u> 。 オ：絵本や図鑑、身近な <u>ちらしなどから情報を取り入れ</u> 、遊びがより本物に近づいていくことを楽しむ。 キ：身近な草花などを使った遊びや水遊びなどを通して、 <u>植物の特徴や色の変化、水温の変化などに気付く</u> 。 ク： <u>文字や数字、図形、標識などを遊びや生活に取り入れて使う</u> ことを楽しむ。			ア：健康に関心をもち、 <u>生活リズムを整えたり、身の回りを整理、整頓</u> したりする。 ア：収穫した野菜などを友達と一緒に食べたり、遊びに取り入れれたりして、 <u>食べ物への関心</u> を高める。 オ：地域の公共施設や小学校などを訪れ、 <u>場所や状況に応じた約束を知り、守ろうとする</u> 。 キ：紅葉や落ち葉、冬芽、虫などの様子から、 <u>季節の変化や不思議さ</u> を感じたり、 <u>生命のサイクル</u> に気付いたりする。			ア：園生活の <u>見通し</u> をもち、 <u>時間を意識しながら、気持ちを切り替えて行動</u> する。 ア：手洗い、うがい、好き嫌いを減らすなど、 <u>健康な生活のために必要なことを進んで行う</u> 。 オ：正月、節分、アメッコ市、ひな祭りなどの <u>伝統文化を体験し、地域への親しみをもって遊びに再現</u> する。 ク：友達と一緒に縄跳びやコマ回しの回数を競ったりかるたやトランプなどの枚数を数えて記録したりして遊び、 <u>数字や表の便利さに気付く</u> 。		
	カ：リレー遊びやドッチボールなどのゲームを楽しくするために、 <u>作戦やルールを話し合って工夫</u> する。 キ：園庭の草花や野菜、虫などについて、 <u>名前や世話の仕方などに興味をもって調べ、命あるものを大切にしようとする</u> 。 ク：遊びや生活の中で、物の準備や後片付けをしながら、 <u>数える、比べる、形を工夫する</u> などを意識する。 ケ：絵本や物語に親しみ、 <u>気付いたことや感想、想像したことを友達と伝え合う</u> ことを楽しむ。 コ：体験したことや考えたことを、いろいろな素材や用具を使って自分なりに表現することを楽しむ。			カ：遊びの <u>目的に沿って時間をうまく使ったり、場所や道具を選んだり</u> して、自分たちで遊びを進める。 キ：身近な自然や偶然出会った <u>自然の変化</u> に関心をもち、 <u>言葉で表現したり、調べたり試したり</u> して遊ぶことを楽しむ。 ク：収穫した野菜の数を数えたり、 <u>大きさや重さを比べたり</u> しながら、大きい・小さい、多い・少ない、重い・軽いなどの <u>言葉の意味を実感</u> する。 ケ：ごっこ遊びや共同製作などで <u>友達とイメージを伝え合い、共有しながら表現</u> する喜びを味わう。 コ：歌を歌ったり踊ったり、楽器を使って遊んだりすることを通して、 <u>曲の感じやリズムの変化を楽しんで表現</u> する。			カ：遊びに必要な物のイメージを友達と共有しながら、 <u>素材や用具の特性を生かして製作し、遊び方を工夫</u> する。 ク：空き箱や紙などの形や大きさ、長さなどを捉え、 <u>組み合わせを考えながら作り上げる</u> ことを楽しむ。 ケ：遊びを振り返って <u>楽しかったことや困ったこと、明日やりたいことなどを言葉で伝え合う</u> 。 コ：絵本や物語などのお話の世界を豊かに想像し、 <u>イメージを広げて遊びに取り入れれたり、言葉の楽しさや美しさ</u> に気付き、言葉を豊かにする。			カ：友達と一緒に遊びながら、 <u>共通の目的をもってアイデアを出し合い、試行錯誤する過程を楽しむ</u> 。 キ：気温などの条件により雪質や氷のでき方が違うことなどから、 <u>自然現象への関心を高め、試して遊ぶ楽しさ</u> を味わう。 ク：文字には <u>人に思いを伝える役割</u> があることに気付き、 <u>手紙などで伝える</u> ことを楽しむ。 ケ：園生活を振り返り、今まで経験したことや友達と協力した思い出などを言葉で伝え合い、 <u>成長した喜びを味わう</u> 。 コ：みんなで <u>気持ちを合わせて表現したり聴き合ったりして、響き合いを楽しむ</u> 。		
	イ：縄跳びや鉄棒などで、自分の目標を立てて <u>あきらめないで挑戦</u> しようとする。 ウ： <u>ルールのある遊び</u> の中で、友達と競い合ったり <u>応援したり</u> して遊ぶ。 エ：すすんで挨拶を交わしたり「ありがとう」「ごめんなさい」の <u>気持ちを心をこめて伝える</u> 。 オ：母の日や父の日などを通して <u>家族の大切さに</u> 気付き大切にしようとする。			イ：体を動かす遊びに <u>繰り返し挑戦</u> し、できるようになった達成感を味わい、 <u>様々な運動に挑戦</u> しようとする。 ウ：友達とお互いの <u>思いや考えを共有し</u> 、目的が達成できるように話し合ったり協力し合ったりする。 エ：トラブルを通して、 <u>思い通りにいかない葛藤</u> を味わったり <u>気持ちを調整</u> したりすることを繰り返し、 <u>相手の思いに</u> 気付きながら仲間としてのつながりを深める。 オ： <u>高齢者や身近な人々との関わり</u> を通して、親しみをもち <u>関わる楽しさ</u> を感じる。			イ：当番の仕事など、 <u>自分がしなければならないことを自覚し</u> 、忘れずにやろうとする。 ウ：劇遊びなどで、友達のよさを認め合いながら <u>役割を分担したり力を合わせたりして遊びを創り上げる</u> ことを楽しむ。 エ：自分の思いを友達に伝えたり、相手の考えを受け入れたりして、 <u>折り合いをつけて遊ぼうとする</u> 。 オ： <u>地域の方々や異年齢児、小学生など</u> 、様々な関わりの中で、 <u>相手や場面に</u> 応じて話したり接したりしようとする。			イ：園生活やクラスの自分の役割を <u>果たそうとし、役に立つ喜び</u> を味わう。 ウ：困った時には、友達や先生に <u>自分から話したり</u> 、お願いしたいことを <u>伝えたりして、自分たちで解決</u> しようとする。 エ：楽しく生活するために <u>きまりを守ったり、新たに</u> つくったり、 <u>必要に応じてつくり替えたり</u> しようとする。 オ：園生活を振り返り、 <u>自分の成長や自分が大切にされていること</u> に気付き、 <u>周りの人たちへの感謝の気持ち</u> をもつ。		
★行交職子事流員ど・活交もF動流交C流	入園式 進級の会 参観日 避難訓練 交通安全教室 運動会 七タ会 参観日 ★小学校1年生の授業参観・情報交換会 ★幼保小連携推進会議 ★幼保小担任研修会			★プール遊び交流 ★市夏季研修会 ★保育体験 お泊まり保育 お月見会 ★生涯学習フェスティバル展示			秋の遠足 発表会・お楽しみ会 運動会 ★小学校市教研総合研への参加 ★幼保小中連携メディアコントロール週間 クリスマス会 ★1年生との交流 就学時健診 ★就学支援委員会			☆かるた大会 ★教職員研究実践発表会 ☆まめまき アメッコ市 ☆体験入学 ひなまつり ★情報交換会 卒園式 お別れ会 ★要録・個別的教育・保育支援計画の送付		
○☆環境援助の構ポ成イント	☆ 目標をもって意欲的に取り組む姿を認め励まし、自信をもって自分らしさを発揮できるようにする。 ○ 1日の生活の流れを時計とともに表示し、活動の見通しがもてるようにする。 ○ 子どもが遊びを継続し、満足感や達成感を得られるように、場所や時間、素材や道具などを十分に用意し、遊びを保障する。			☆ 友達と協力したり競い合ったりして活動する中で、繰り返し挑戦したり試したりしようとしている姿を丁寧に読み取り、認めたり紹介したりする。 ☆ お互いの思いやイメージを出し合いながらよりよい方法で遊びを展開できるように、考えを受け止めて言葉にしたり視覚化したりしながら、考えを引き出す援助をする。 ○ 遊びの楽しさや工夫を交流したり、お互いのよさを認め合ったりするために、遊びの振り返りの時間を保障する。			☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。			☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。		
家庭との連携	・ 子どもの発育上のことや家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝えたりしながら、保護者の思いを受け止めるとともに、信頼関係を築いていく。 ・ 年長として意欲と自信をもって生活している姿を伝え、ともに成長を喜び合えるようにする。 ・ 年間の行事予定やそれをリードする年長児としての役割を伝え、理解と協力を得る。			・ 遊びの様子や行事などの参観、懇談を通して、「どのような育ちを願い、どんなを経験をさせたいか」、子どもの変容を伝えながら成長を共有していく。 ・ 遊びや生活の中でのトラブルが成長につながることを伝え、様子を伝えながら理解を得るようにする。 ・ 早寝・早起き・朝ご飯や絵本の読み聞かせの大切さを伝え、理解と協力を得る。			・ 就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。 ・ 就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。			・ 卒園式、入学式までの予定などの情報を提供し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・ 子どもの頑張りやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。 ・ 就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送ることができるように協力をお願いする。		

架け橋期に期待する子どもの姿

大館市 周囲の人々と環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

城西小学区 豊かな体験を通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、仲間と幸せを分かち合う子ども



大館ホテヤこども園・宮の杜神明こども園

大館市立城西小学校



月 期		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7																				
		5歳児 第3期			5歳児 第4期			小学校1年 第1期		小学校1年 第2期																					
小学校区で目指す子どもの姿	ねらい点	・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、 折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊びや生活を進める楽しさ を味わう。			・自分や友達のよさが分かり、 認め合ったり受け入れ合ったりして協力して、遊びを進める楽しさややり遂げる満足感 を味わう。			・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、 学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い、楽しく、安心して生活 する。		・小学校の生活や学習に見通しをもって取り組み、 目的や学ぶ楽しさを友達と共有 し、自信をもって活動する。																					
	知識及び技能	♥ 自分がしたことや思ったことを話そうとし、相手の話を聞くこととする。			♥ 思ったことや考えたことを相手に分かるように話すとともに相手の話に興味をもって聞く。			・学校生活に必要な約束やルール、マナーに気付き、身の回りのことを自分でやろうとする。		・学校生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やルールを守って行動したりする。																					
	思考力・判断力・問題解決力	・文字や数字、図形、標識などに興味をもち、遊びや生活に取り入れて使うことを楽しむ。			・文字や数量、表などを遊びや生活に進んで取り入れ、その役割や便利さに気付く。			・新しい学習に興味をもち、学習の約束を進んで生かしながら意欲をもって取り組む。		・学校や通学路、公園などで安全に生活するために気を付けることに気付き、守って行動しようとする。																					
	学びに向かう力、人間性等	・物の性質や素材の特性に気付いて選択したり、予想して試してみたりする。			・様々な人との関わりの中で刺激を受けながら自分の見方や考え方を広げる。			♥ 学級の友達と一緒に活動する楽しさや様々な考えに触れる喜びを味わう。		・経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方を取り入れたりしながら課題を解決する。																					
		・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れたりする。			・身近な事象と関わる中で、変化や仕組み、法則性などに気付き、調べたり確かめたり工夫したりの試行錯誤を楽しむ。			♥ 学び合いの約束を生かして自分の思いを表現したり友達と伝え合ったりする。		♥ 自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝えようとする。																					
		・考えを伝え合ったり相談したりしてイメージや目的を共有し、遊びや生活をつくる。			♥ 友達のよさや一緒に遊ぶ楽しさを感じながら共通の願いや目的を実現させる喜びを味わう。			・新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進んで関わろうとする。		♥ 友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、連帯感や所属感を深める。																					
		♥ 遊びや生活を進めながら友達と協力し合い、仲間意識を高める。			・園生活やクラスの自分の役割を果たそうとし、役に立つ喜びを味わう。			♥ 相手の気持ちを考えたり自分の行動を振り返ったりして楽しく生活しようとする。		・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。																					
共通して充実を目指す活動・体験	言葉で伝え合う力 共感・協働する力	<div>みんなに伝えよう</div> <div><朝の会・帰りの会> ・今日うれしかったこと頑張ったこと、明日頑張りたいこと、教えてもらいたいことなどを発表する。 ・友達の話を静かに聞いたり、認めたりする。</div> <div><かがやきタイム> ・自分の頑張りが友達のを発表する。 ・入学への期待を伝え合う。</div>										<div>みんなと伝え合おう</div> <div><朝の会・帰りの会> ・元気に挨拶したり、みんなと仲良く歌ったりしながらクラスの一体感を味わう。 ・自分の頑張りが楽しかったこと、友達のよさを発表する。 ・一日のスケジュールが分かり、教え合ったり質問したりする。</div> <div><本気ッズタイム>・自分の考えを話したり友達の考えを聞いたりする。 <かがやきタイム>・学習の振り返りを伝え合う。</div>																			
		<div>みんなでやりとげよう</div> <div><運動会・おゆうぎ会> ・運動会やおゆうぎ会の内容や役割分担を話し合う。 ・困っている友達にアドバイスしたり、教え合ったりする。 ・頑張ったことやもっとよくしたいこと等を振り返り発表し合う。 ・おゆうぎ会で使う物を友達と協力して制作したり準備したりする。 ・同じ目的・目標に向かい、仲間意識を高め、充実感を味わう。 ・友達の考えを受け入れたり折り合いを付けたりする。 ・友達のよさを認め合う。 ・友達と協力して工夫し成功させる。</div> <div><当番活動> ・順番や道具・用具を確認する。 ・給食の盛り付けをする。 （園児が食べたい量を自分で伝えようとする） ・みんなの役に立つ喜びを味わう。 ・協力して活動する。</div>										<div>なかよく遊ぼう</div> <div><制作・自由遊び> ・作りたいもののイメージを伝え合ったり、遊び方やルールを教え合ったりする。 ・役割分担の話し合いをする。 ・友達とイメージを共有し、相談しながら一緒に遊ぶ。 ・作ったものを見せ合い、共感したり認めたりする。</div> <div><ルールのある遊び> ・チーム分けや作戦を話し合う。 ・友達に教えたり応援したりする。 ・ルールを守って仲よく遊ぶ。 ・友達と意見が違っても気持ちに折り合いを付けながら遊ぶ。 ・勝敗に対し、喜んだり悔しがったりする一体感を味わう。 ・一つのことを成し遂げる充実感を味わう。</div>										<div>感謝を伝えよう</div> <div><お別れ会・卒園式> ・園生活を振り返り、思い出を伝え合う。 （国語「どうぞよろしく」） ・どんな会にすれば、喜んでもらえるか話し合う。 ・感謝の気持ちを表す言葉や歌を話し合って決める。 ・お世話になった先生や友達・異年齢児へのプレゼントを考え、工夫して製作する。 ・同じ目的・同じ目標に向かい協力し合いながら取り組む楽しさや達成感を感じる。 ・すすんで友達に教えてあげたり励ましたりする。</div>									
		<div>どうぞよろしく</div> <div>・自己紹介カードを使って友達と交流する。 （国語「どうぞよろしく」） ・探検して見付けたことを友達に絵や言葉で伝える。 ・学校生活で必要な場所や安全に気を付ける場所に気付く。 （生活「学校たんけんしよう」） ・安全に登下校するためのルールやマナーを知る。 （生活「みんなであつうがくろをあるこう」） ・友達と仲よく助け合って勉強したり遊んだりしようとする。 （道徳「なかよくね」）</div>										<div>学校 大すぎ</div> <div>・場に応じた挨拶や言葉遣いを考え、伝え合う。 （国語「なんていおうかな」） ・歌ったり踊ったりしながら友達と交流し合う。 （音楽「うたであどってなかよくしよう」） ・学校や校庭の施設、先生や友達などに関心をもち、すすんで関わろうとする。 （生活「がっこうだいすき」） ・学校生活の楽しさを見付けて、友達と一緒に楽しもうとする。 （道徳「がっこうだいすき」）</div>										<div>みんななかま</div> <div>・応答したり、感想を伝えたりする。 （国語「ききたいな ともだちのはなし」） ・なかよしタイムや本気ッズタイムで意見を交流し合う。 （各教科） ・遊具や自然を使った遊びを考え、ルールやマナーを守って仲よく遊ぶ。 （生活「こうえんであそぼう」） ・同学年の仲間や兄弟学年の人たちと仲よく活動したり、友達のよさを見付けたりする。 （ハートアップタイム）</div>									
		<div>自分の役割をやり遂げよう</div> <div>・学級の一員として学級が楽しくなるように考え、自分のよさを発揮したり友達と協力し合おうとしたりする。 ・清掃活動 ・給食当番活動 ・学級の係活動 （道徳「みんなしょうす」 学活「学級の目標や係を決めよう」） ・自分のやるべき仕事や学習をしっかりと行おうとする。（道徳「おふろそうじ」）</div>																													
行事・FC ★こどもの交流		就学時健診	発表会	クリスマス会	豆まき	ひなまつり	入学式	1年生を迎える会	学校探検	給食開始	運動会	ことばとまなびの小テスト	PTA授業参観・個人面談																		
		運動会	ハロウィン	☆1年生との交流	☆体験入学	お別れ会	縦割り清掃班スタート集会	交通安全教室・下校指導			地域訪問		終業式																		
		幼保小中連携メディアコントロール週間				卒園式							夏休み																		
職員の交流 他		小学校市教研総合研への参加			保育参観	教職員研究実践発表会	情報交換会	要録・個別の支援計画送付	就学前施設職員授業参観・懇談会		幼保小連携推進会議		幼保小担任研修会	保育体験 夏季研修会	授業参観 情報交換会																
○★環境援助の構成員		☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切にし、それぞれの持ち味を発揮したりお互いによさを認め合ったりしながら協力し合うことができるような言葉掛けをする。			☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。			☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、子どもの話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。			☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。																				
		○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切にし、絵本に親しむ環境を工夫する。			☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。			☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。			☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。																				
		○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。			○ 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。			○ 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち落ち着いて生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。			○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをすることともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。																				
家庭との連携		・就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。			・卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるように支援する。			・学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。			・子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。																				
		・就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。			・子どもの頑張りがよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。			・1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。			・規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。																				
					・就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送れるように協力をお願いする。			・連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にし、褒めたり認めたりしてもらえるようにする。			・学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。																				

架け橋期の目指す子ども像

大館市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども

釈迦内小学校区

前向きな心


美しい心

挑戦の心

夢や目標をもち進んで学ぶ子ども（ドリームグリーン）

自分も友達も大切にし協力し合う子ども（ビューティフルブルー）


あきらめずに挑戦し、やりとげる子ども（チャレンジレッド）（チアイエロー）



向陽戦隊さくらンジャー

向陽こども園・釈迦内保育園

大館市立釈迦内小学校



月期	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
	5歳児 第3期			5歳児 第4期			1年生 第1期	1年生 第2期		
ねらい	・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、 折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって 遊びや生活を進める楽しさを味わう。			・自分や友達のよさが分かり、 認め合ったり受け入れ合ったりして協力して 、遊びを進める楽しさや やり遂げる満足感 を味わう。			・小学校の生活や新しい学習に興味をもって取り組み、 学級の友達や上級生、先生と進んで触れ合い 、楽しく、安心して生活する。	・小学校の生活や学習に 見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさを友達と共有 し、意欲的に活動や学習に取り組む。		
小学校区で目指す子どもの姿	・他園の年長児や1年生との交流を通して、体験したことや思いを保育者や友達とやり取りしながら遊びを広げる楽しさを味わう。 ・絵本や物語に親しみ、気付いたことや想像したことを友達と伝え合ったり情景や心情のイメージを広げて遊びに取り入れれたりする。			・遊びや生活の中で、必要な材料や道具を選んだり文字や数字等を取り入れたりしながら、思いやイメージを友達と伝え合うことを楽しむ。 ・冬の自然に触れ、季節の変化や不思議さに気付いたり、気付いたことを遊びに取り入れれたりする。			・学校探検や春探しなどから、伝えたいことを選んだり、伝え方を工夫したりする。 ・自分のよいところや夢、できるようになりたいこと等、絵や言葉で表したり、友達と伝え合ったりする。	・あさがおやひまわりの成長に見通しをもち、成長の様子や開花への期待を、言葉や絵、動作等の方法を選んで伝え合う。 ・ひまわりの種を袋に詰める活動で、種の数え方を工夫したり、地域の人に喜んでもらえるような絵を考えてかいたりする。		
	・遊びの中で友達の思いに気付いたり、自分の思いを伝えたりしながら共通の目的に向かって協力し合う楽しさを味わう。 ・ゆうぎ会・おたのしみ会に向けて、友達とアイデアを出し合ったり励まし合って練習したりしながら、一つのことに向かう充実感を味わう。			・遊びや生活の中で、嬉しかったことや悲しかったこと、できるようになったことなどを友達と伝え合って共有したり、共感し合ったりする喜びを味わう。 ・卒園に向けて、卒園式の歌やお別れの言葉等を友達と話し合い、役割を分担したり協力し合ったりしながら創り上げることを楽しむ。			・新しく出会う友達や教師と進んで関わり、一緒に活動する楽しさや喜びを感じる。 ・楽しく学習や生活をするために大切なこと（返事や挨拶、約束やマナー、言葉遣いなど）に気付き、進んで実践しようとする。	・上級生や学校を支えている方々、地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。 ・聞き手を見て話したり、話し手に共感して相づちなどの反応をしながら最後まで話を聞いたりする。		
	・当番活動などで、自分たちに行えることを見付け、生活や遊びを自分たちで進めていく楽しさや充実感を味わう。 ・縄跳びや運動遊び等で、自分の目標を立て、できるまで挑戦することの楽しさや達成感を味わう。			・生活や遊びに見通しをもち、使う物を進んで準備したり整えたり、片付けたりする。 ・園生活や年長組での生活を振り返って、自分や友達の成長に気づき、自身をもって小学校に進もうとする。			・学校生活に見通しをもって、自分でできることは自分でしようとしたり、学習の準備を意欲的に行ったりする。 ・運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守りながら誰とでも仲よく運動をする。	・楽しい学級にするために、自分にできる仕事を考えたり話し合ったりして決め、進んで役割を果たそうとする。 ・学習や生活、行事等の中で、自分の目標を見付けて粘り強く取り組む。		

共通して充実を目指す活動・体験

★<アイデアを出し合って遊ぶ>（オカキケ）
・秋の自然物（どんぐり、松ぼっくり、栗、とちの実、小枝など）を工夫したり考えたりしながら遊びに取り入れて友達とごっこ遊びを楽しむ。
・お店屋さんごっこ、お寿司屋さんごっこ等、友達とイメージを共有するために話し合ったり考えたりして遊びを進める。

<当番活動（イウオ）>
・クラスのために自分が役に立つ喜びを感じ、友達と力を合わせて活動する。

<みんなの力でやりとげよう>（アイウカ）
・ゆうぎ会、おたのしみ会に向けてどんな出し物にしようかクラスで話し合い、劇のシナリオや衣装などのアイデアを出し合いながら練習する。本番では楽しんで発表し、達成感を味わう。

<あきらめずに挑戦する>（アイウ）
・縄跳び、跳び箱、鉄棒などあきらめずに繰り返し挑戦する。

<雪遊び>（ウオカケ）
・山登り、ソリ遊び、雪合戦、かまくら作り等、気温の変化による雪の質の変化や自然の不思議さに気づきながら、友達と思いきり体を動かして遊ぶ。

<園に感謝する>（アイウエオ）
・クリスマス会や終業式を通して1年が終わることに気づき、みんなで協力し合いながらお世話になった玩具や保育室の大掃除をする。

<伝承遊び>（ウオカケ）
・かるた、すごろく、コマ回し、トランプ等のルールを理解しながら友達と正月遊びを楽しむ。

★<本に親しむ>（カクコ）
・園の本や小学校の図書館の本を読んだり読んでもらったりして、文字や言葉、お話に興味をもち、遊びに取り入れる。

<ルールのある遊び>（イウカケ）
・ドッジボールや鬼ごっこ等、何度も繰り返しゲームを楽しむ中でルールを理解し、どうしたら勝てるか友達と工夫したり作戦を考えたりする。

<ゆうびん屋さんごっこ>（ウオカクコ）
・自分の思いを手紙に書いて手作りポストに入れると、当番が友達や先生に届けてくれる。手紙のやりとりや文字や絵を書いて伝えることを楽しむ。

<ゆめに向かって>（ウオカクコ）
・卒園式の歌やお別れの言葉、小学校に行ったら何を頑張りたいかなど、友達と話し合い在園児や保護者、先生方に感謝の思いを伝える。

<がっこうだいすき>（生活）（アイウエオカクケコ）
・友達や先生と自己紹介し合ったり、学校探検をして見付けたものを友達と伝え合う。
国語「どうぞよろしく」
・自己紹介カードに名前を書く。
「なんていおうかな」
・場面に応じた言葉や動作を考える。
「こんなもの みつけたよ」
・学校探検で見付けたものを友達と伝え合う。
図工「すぎなもの いっぱい」
・すぎなものや見付けたものを絵に表す。
道徳「どうしてこうなるのかな」
・楽しく生活するためのルールやマナーを考える。
体育「体ほぐしの運動遊び・固定施設遊び」
・友達と一緒に校庭遊具で遊んだり、かけっこをしたりする。
音楽「うたでなかよし」「なまえあそび」
・園で歌っていた歌や春の歌を歌う。
・名前でリズム遊びをする。

<なりたいたい自分に向かって>（学活）（アイウオカケ）
・自分の好きなことや得意なこと、できるようになりたいこと、夢などを考え、キャリアノートに書いて友達と伝え合う。
道徳「みんなじょうず」
・自分のよいところを見付ける。

<みんなで力を合わせて>（アイウエオ）
体育「走の運動遊び」
・かけっこや玉入れ競争、ダンスなどの運動遊びに取り組む。
・順番やきまりを守り、誰とでも仲よく遊んだり、場の安全に気を付けたりする。
特活・縦割り班の人と一緒に掃除に取り組む。
学活「運動会でがんばりたいこと」
・目標を決めて取り組む。

<きれいにさいてね>（生活）（カキクケ）
・あさがおとひまわりの種を植え、その変化や成長の様子に関心をもちながら世話をする。
国語「なんていおうかな」
・地域の方や上級生に種の植え方を聞く。
「としょかんへいこう」
・図鑑で育て方を調べる。
道徳「あさがお」
・どんな気持ちで植物の世話をすればよいか考える。
算数「なかまづくりとかず」
・種の数を数えたり、数のまとまりを作ったりする。
常時活動・係活動
・朝の時間や中休みの時間に、水やりをしたり、成長の様子を観察したりする。

<ひまわりタイム>（習学）（アイウエカケ）
・友達と考えを出し合い、協働的に学び合う。
・見通しもち、まずは自分の力でやってみる。
・自分の考えを発表する。
・友達の話を反応しながら聞く。
・よりよい方法を考える。
・振り返りをする。

<みんなのためにできること>（朝・帰りの会・学活）（アイウオウケ）
・やってみたい仕事に挑戦したり、あったらいいなと思う仕事を考えたりする。
・あったらいいなと思う仕事を見付けて発表する。
・自分でやりたい仕事を決める。
・役割を決め、係の仕事に取り組む。

（アイウエオカキクケコ）・・・「10の姿」 ★・・・子どもの交流

ひまわり活動	きりたんぽまつり ひまわり油販売	ひまわり感謝祭							ひまわりスタート集会			ひまわりの種袋詰め 一戸一ひまわり運動	ひまわりの種植え	除草	除草	かかし教室
	行事・FC	就学時健診 秋の遠足・自然観察	幼児小中連携メディアコントロール週間 ゆうぎ会 おたのしみ会	クリスマス会 二学期終業式	三学期始業式	節分豆まき会 内科健診	新入園児説明会 おわかれ会	入学式 給食開始	新任式・始業式 給食開始	1年生を迎える会 縦割り清掃班スタート集会	発育測定・内科検診 町内児童会・集団下校	マラソン運動 地域訪問	新体力テスト PTA授業参観・懇談会	終業式 避難訓練 地域防災活動(小・中)		
子どもの交流	稲刈り 焼きいも交流会(幼保)	1年生生活科授業参加 ～あきまつり～		雪遊び交流会(幼保) 図書館へ行ってみよう	入学前交流会		下校指導	交通安全教室 PTA授業参観・懇談会				運動会 田植え(5年)	ひまわりの種植え(2年) 読書強調月間	プール授業参加		
	職員の交流他	小学校市教研総合研への参加	生活科授業協議会	架け橋カリキュラムの見直し	教職員研究実践発表会	新1年生の情報交換	要録・個別の支援計画の送付	就学前施設職員授業参観・情報交換会				幼保小連携推進会議	生活科授業参加 幼保小担任研修会	保育士体験 夏季研修会		
〇☆環境境助の構ボ成イント	☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切に、それぞれの持ち味を発揮し、お互いによさを認め合うことができるような言葉掛けをする。 ☆ ゆうぎ会やおたのしみ会に向けて、みんなで一つの劇や合奏などを創り上げる喜びを味わうことができるようにする。 〇 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切に、絵本に親しむ環境を工夫する。 〇 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験、知的好奇心を満たす遊びや環境を工夫する。			☆ 今までの経験を生かして、心と体を十分に働かせて自分たちで遊びを進める姿を認め、満足感をもてるようにする。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 〇 卒園に向けて、自他の成長に気付いたり、お世話になった方々への感謝の気持ちをもったりできるような環境を工夫する。			☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、児童の話や共感しながら聞いたりして、温かな安心できる学級づくりを工夫する。 ☆ 幼児期とのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 〇 子どもの思いを汲み取りながら、一人一人が安心感をもち落ち着いた生活、学習できるように一緒に環境を工夫していく。 〇 生活科を中心とした関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。			☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気付きを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 〇 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをするとともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。						
家庭との連携	・ ゆうぎ会やおたのしみ会へ向けての取り組み、本番での頑張りを認めてもらい、自信や意欲に繋げていく。 ・ 就学に向けての心配や不安を受け止めて、安心して就学できるように子どもへの関わりを一緒に考えるとともに、必要な情報を提供し相談できる機会や場につなぐ。場合によっては小学校と情報を共有する。 ・ 就学時健康診断を機会に、入学までに身に付けたい習慣や力について話題にしていく。			・ 卒園式、入学式までの予定を示し、見通しをもって準備できるよう、また、不安がないように支援する。 ・ 子どものがんばりやよさについて伝え、成長の喜びを共有し、自信と期待をもって入学できるような励ましや言葉掛けをお願いする。 ・ 就学に向けて、起床、就寝、食事の時間を見直し、規則正しい生活を送れるように協力をお願いする。			・ 学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・ 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもてるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にしたり褒めたりしてもらえるようにする。			・ 子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝える。 ・ 規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。 ・ 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアの教育的価値を伝えて協力をお願いする。						

〈資料2〉 花岡小学校区 架け橋充実期のカリキュラム全体計画（5歳10月～1年生7月）

架け橋期に期待する子どもの姿
大館市 周囲の人々や環境と主体的に関わり、学び喜びや楽しさを実感しながら仲間と共に育ち合う子ども
花岡小学区 ゆっくり たっぶり じっくり かかわりと学びを広げる子ども



▼保育園名又は学校名をご入力ください

花岡	保育所
花岡	小学校



月 期	10	11 5歳児 第3期	12	1	2 5歳児 第4期	3	4 小学校1年 第1期	5	6 小学校1年 第2期	7	
ね ら い	・友達と一緒に考えたり、話し合ったり、 折り合いを付けたりしながら共通の目的に向かって遊び や生活を <u>進める楽しさ</u> を味わう。			・自分や友達のよさが分り、 認め合ったり受け入れ合ったりして協力して 、遊びを進める <u>楽しさ</u> や <u>やり遂げる満足感</u> を味わう。			・入学の喜びを感じ、友達や上級生、先生とかかわる中で、 様々な環境や新しい学習に興味をもち、安心して楽しく 生活する。			・小学校の生活や学習に 見通しをもって取り組み、共に活動する楽しさ を友達と共有し、意欲的に活動や学習に取り組む。	
小 学 校 区 で 目 指 す 子 ど も の 姿	・身近な生き物に親しみをもち、世話をすることによって生命の尊さに気付いたり優しい気持ちが育つようにする。			・文字や数字などに興味をもち、調べたり遊びに取り入れて試そうとする。 ・身近な事象に興味、関心をもち見通しをもって生活する。			・これまでの経験を生かしながら 新しい学習 に取り組み、意欲をもって学ぶ中で、約束やルール、マナーの必要性に気付き、身の回りのことを自分でやろうとする。			・学校生活のリズムが身に付き、活動に見通しをもって準備したり約束やルールを守って行動したりする。 ・学校や通学路、公園などで安全に生活するために気を付けることに気付き、守って行動しようとする。	
	・気付いたことや想像したことを友達と伝え合い、生活や遊びに取り入れたる。			・絵本や物語などで見たり、聞いたりしたことを自分の経験と結びつけながら、想像したり、表現したりしようとする。			・お話の世界を想像したり、友達と楽しさを共有したりしながら本に親しみ、言葉を広げていく。			・読んだり書いたり使ったりしながら、文字や数字、言葉による学びの楽しさを味わう。	
	・絵本を見たたり物語を聞いたたりしてお話の世界を楽しみ、楽しさや美しさに気付いたり、イメージを広げて遊びに取り入れたる。			・冬の身近な自然事象に関心をもち、発見したことや不思議に思ったことなどを友達と一緒にやってみようとする。			・自分の思いを表現したり友達と伝え合ったりする楽しさを味わう中で、 学び合いの約束 を身に付けていく。			・経験したことや身に付けたことを活用したり友達の見方や考え方に触れたりしながら課題を解決していく。	
	・言葉に対する感覚を豊かにし伝え合う喜びを味わう。 ・木の実や落ち葉、虫、数や大きさ、形などを比べて違いに気付き、伝え合う。 ・友達の考えに触れるなかで、自分と異なる考えがあることに気付く、良さを認めたり言葉で伝え合う喜びを感じる。 ・遊びや生活を <u>進めながら</u> 友達と協力し合い、仲間意識を高める。			・冬から春の変化に気付き、試したり考えたりしたことを遊びに取り入れたり表現してみようとする。 ・考えを伝え合ったり相談したりしてイメージや目的を共有し、遊びや生活をつくる。 ・園生活の中で自分なりの役割を果たし、役に立つ喜びを知ったり友達と一緒に目的を持ち、達成しようとする。			・これまでの学びとのつながりを感じながら、新しい環境の中で気付いたり発見したりしたことを伝え合ったり、自分の中に取り込んだりする。 ・新しく出会う先生や友達と一緒に活動する楽しさを感じながら進んで関わろうとする。			・自分の伝えたい目的や相手に応じて、言葉や方法を選んで伝えようとする。 ・友達と一緒に活動する中で、お互いを理解し、連帯感や所属感を深める。 ・学校を支えている方々や地域の方などいろいろな人と関わることを楽しみ、地域への親しみを深める。	

★直接体験の充実

◇知的好奇心の醸成

♡自己肯定感の育

共通して充実を目指す活動・体験

く わくわく どきどき やってみよう

季節の変化を五感で感じる

（★♡♡）

- 雪遊び・水遊び・タオルで裸体験
- 探検・雪探し
- 発見をみんなと共有する
- 不思議な現象を繰り返して試す
- 気付きを探究心につなげる

生き物を通しての体験活動（★♡♡）

カナヘビ、トカゲ、ザリガニ、メダカ

- 命あるものを大切に
- （エサ探し、とった場所を再現してみる・冬眠準備）
- 絵本や図鑑で調べたり考えたりする

友達といっしょにやってみよう（★♡♡）

【劇ごっこ】

- イメージの伝え合い
- セリフを考える
- 必要な道具を作る
- お話の世界を表現する

【運動会ごっこ・ルールのある遊び】

- 子ども達なりのルールで試してみる
- 熱い合う楽しさを味わい、繰り返し挑戦してみる

【年下の子といっしょに】

- 一緒に遊べるように工夫する
- 自分の成長に気付く年下の子に教えてあげようとする

【制作遊び】

- 試行錯誤して作る
- 友達の良さに気付く
- 友達といっしょに作る
- 卒園・お別れ会に向けて協力しながら進める

言葉や想像の世界を広げよう（♡♡）

- 保育所での読み聞かせ・おはなしの月（月1）・図書館貸し出し読み聞かせごっこ・劇ごっこ
- 絵本入りの絵本を表現する（公民館祭り絵本）
- 保護者へ絵本の良さを知らせる（おすすめ絵本の紹介）

文字や数に繰り返し親しむ（♡♡）

自分で好きな絵本を見る、友達と一緒に見る、クリスマスカード作り・年賀状作り・花開かた・カレンダー・お勉強ごっこ

- ・かるたの読み手、取り手の役割を楽しむ
- ・郷土の歴史に触れ、関心をもつ
- ・好きな絵本を友達と共有する
- ・文字や数に興味をもち使う楽しさを味わう

～レッツ・チャレンジ「自立した子どもを育てる」～

行ってみよう、見よう（★♡♡）

〈校外を探索しながら興味・関心を広げ、何處も行ってみたい、聞いてみたいしながら、学校という新しい環境について知っていく喜びを味わう〉

- ・学校探検Ⅰ（生）
- ①1年生だけで行ってみよう
- ②2年生と一緒に行ってみよう
- ・交通安全（特活）
- ・つうかろくをあるいてみよう（生）
- ・がっこうだいすき（道）

自分たちでできるよ（★♡♡）

〈必要な係や当番の仕事を考えて、できることは進んでやってみようとする〉

- ・係活動、当番活動の話し合い（特活）
- ・縦割り班掃除（特活）
- ・きもちのよいせいかつ（道）
- ・あかひのあいさつ（道）
- ・なんていいうかな（国）

レッツチャレンジ！運動会編（★♡♡）

〈学校行事への参画意識の芽生えを大事にし、精一杯走ったり、踊ったり、応援したりしようとする〉

- ・よさこいソーラン、競技の練習（体）
- ・保育所5歳児との合同練習（体）（生）
- ・選手宣誓、応援参加（特活）

全校チャレンジ編（★♡♡）

〈2・3年生に、相手意識をもちながら取り組む大切さを教わり、共にやり遂げる喜びを味わう〉

- ・低学年出店の計画、準備、運営（生、国、図、道、特活）
- ・なかよくね（道）

七夕交流会編（★♡♡）

〈（相手思い浮かべながら計画し、5歳児に教えながら飾りを作ったり一緒に遊んだりする）〉

- ・交流会の計画・準備（生）
- ・5歳児さんとの飾りづくり
- ・七夕交流会～保育所にて～

一緒に遊ぼうよ（★♡♡）

〈遊びを通して新しい友だちとのつながりを築き、自分たちで相談したり工夫したりしながら、活動する楽しさを味わう〉

- ・体つくりの運動遊び（体）
- ・うたうたおどってなかよくなろう（音）
- ・園遊会遊ぼう（体）
- ・ねんどとなかよし（図）
- ・みずであそぼう（生）

本を通して言葉や想像の世界を広げよう（♡♡）

〈様々な本に触れ、想像を膨らませたり友だちと面白さを共有したりしながら、文字に親しみ言葉を知っていく楽しさを味わう〉

- ・おはなしのしいな、としょかんへいこう（国）
- ・読み聞かせ（花岡図書館 ミラクルバナナ）
- ・読書タイム
- ・ことば検定

※ 特にねらうものについては、★♡♡で表記

主な行事	就学時健診 秋の遠足 焼き芋交流会 花岡地区文化祭 祖父母交流会 おゆうぎ会 クリスマス会	☆かるた大会 保育参観日 教職員研究実践発表会	豆まき ☆体験入学 ☆お別れ会 ひなまつりお茶会	入学式 給食開始 PTA授業参観・懇談会 縦割り清掃班スタート	学校探検 交通安全教室・下校指導	☆運動会	ことばとまなびの小テスト ☆チャレンジ活動 ☆七夕交流会（保小）	終業式 夏休み 保育士体験 夏季研修会
職員との交流	幼保小中連携メディアコントロール週間 小学校市教研総合研への参加		情報交流会	就学前施設職員授業参観・情報交換会		幼保小連携推進会議 幼保小担任研修会		
○☆環境援助の橋ポイン	☆ 共通の目的に向かって試行錯誤しながら実現に向かう場面を大切に、それぞれの持ち味を発揮し、お互いによさを認め合うことができるような言葉かけをする。 ☆ おゆうぎ会に向けて考えを出し合ったり、工夫したりしながらやり遂げる達成感を味わうことができるようにする。 ○ 一人一人の興味・関心に応じた絵本との出会いを大切に、絵本に親しむ環境を工夫する。 ○ 四季の変化や自然の美しさ、不思議さを感じられる体験や、好奇心や探究心をもって関わりを広げられる環境をつくるようにする。	☆ 友達と様々な体験を重ねる中で、相手の気持ちに共感したり、自分の気持ちを調整したりできるように必要に応じて援助する。 ☆ 子どもと一緒に園生活を振り返りながら、5歳児としての役割をやり遂げた達成感や自他の成長への喜びを共有し、自信をもって行動できるようにしていく。 ○ 子ども同士相談したりしながら存分に遊ぶ場を保障する。 ○ 就学児健診や体験入学会を通して、一年生と交流する場をもち、自分たちが体験してみたいことを考えながら、期待がもてるようにする。	☆ 入学した喜びを共有し、意欲的に取り組もうとする姿を認め励ましたり、児童の話を共感しながら聞いたりして、温かな安心できる環境や分かりやすい学習環境を整える。 ☆ 幼児期の学びとのつながりを考慮し、幼児期に親しんだ活動を取り入れ、自信をもって活動できるようにする。 ☆ これまでの経験を生かしながらやってみよう・考えてみようとする姿を認め、子どもの主体的な取り組みを支える。 ○ 生活科を中心とした総合的・関連的な指導を行ったり弾力的に時間割を工夫したりする。	☆ 具体的な体験を通して、伝え合う、交流する、試行錯誤や繰り返す活動を保障し、お互いのよさやそれぞれの気持ちを共鳴させるようにする。 ☆ 運動会などの取組を通して、頑張っている姿や友達と協力している姿を価値付けし、意欲を高める。 ○ 登下校や縦割り班活動、運動会、ふるさとキャリアの活動などへの取組を通して、地域の方々や他学年との関係づくりをすることともに、様々な人に支えられていることに気付けるようにする。				
家庭との連携	・ 就学に向けての保護者の不安を受け止めて、職員間で共有するとともに安心して過ごせるよう声をかけていく。 ・ 小学校へ必要な情報を知らせながら、相談できる機会や場につなげられるようにし、安心して就学を迎えられるようにする。	・ 子ども達のがんばりやよさについて伝え、1年の成長の喜びが園と家庭で共有できる場をもつ。 ・ 就学へ向けての心配や不安を受け止め、一人一人に配慮して進めていくようにする。 ・ 規則正しい生活を送れるように一人一人の家庭環境に配慮し、できる範囲での生活リズムが整えられるようにする。	・ 学校の方針、1年生の目指す姿やスタートカリキュラム、重点施策等について伝え、理解を得る。 ・ 1年間の予定や1週間毎の具体的な予定を丁寧に伝え、保護者が見通しをもってできるようにする。 ・ 連絡帳や通信などで子どもの様子を伝え、保護者が安心できるようにするとともに、家庭でも話題にしたり褒めたりしてもらえるよう、様々な情報を発信していく。	・ 保護者の協力に感謝すると共に、子どもの頑張っていることやできるようになったこと、課題になることを具体的に伝えていく。 ・ 規則正しい生活習慣づくりやメディアコントロール、読み聞かせや音読、家庭学習など、継続する大切さを啓発していく。 ・ 学校行事や学年の活動、PTA活動などの保護者ボランティアへの協力を願います。				